

近畿地方整備局
資 料 配 布

配布日時	平成13年1月18日 14:00
------	---------------------

件名	平成11年度新・道路交通センサス (一般交通量調査)の結果の速報について 【近畿地方整備局管内】【全国】
----	--

取扱い	
-----	--

同時配布	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ  (全国版は全国同日発表)
------	---

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 道路部 道路計画第二課 課長 <sup>まつだ</sup> 松田 <sup>ひとし</sup> 均 課長補佐 <sup>ひろせ</sup> 廣瀬 <sup>しょうじ</sup> 昌治  TEL 06(6942)1141(内線4251、4252) 06(6945)7420(夜間)
--------	--

# 平成11年度道路交通情勢調査の概要と結果について

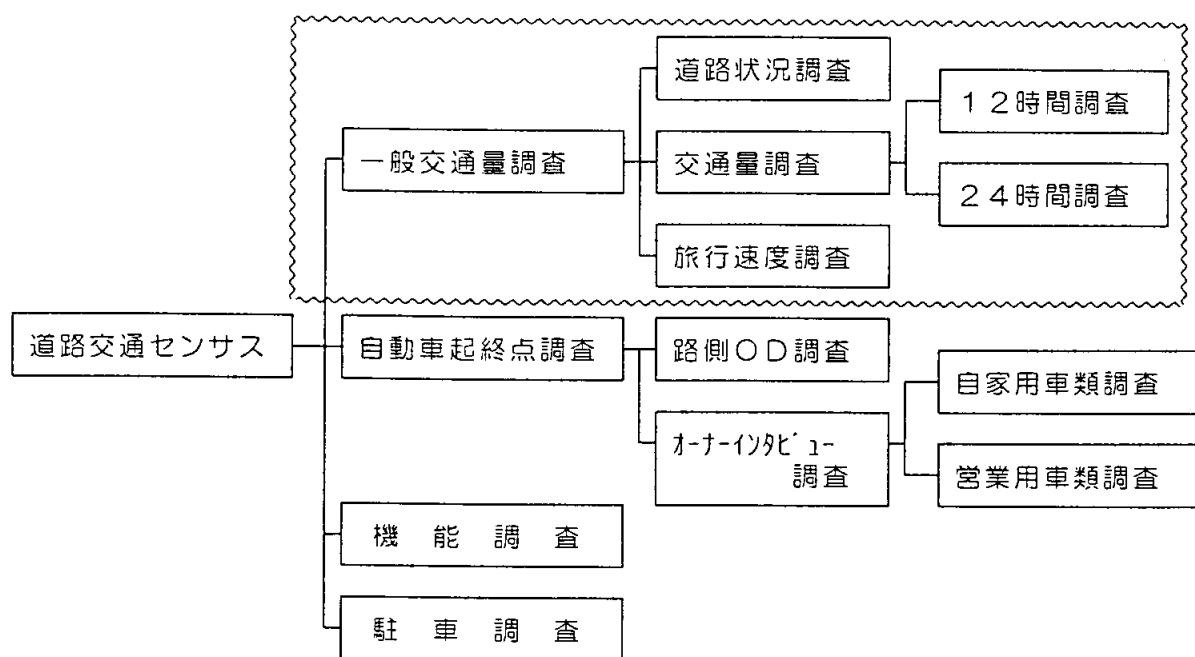
## ○はじめに

全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）は、道路状況、交通量、旅行速度、自動車の起終点、運行目的等を調査するもので、道路と道路交通の実態を把握し、道路計画・管理に活用し、各種の道路施策を策定する上での基礎資料となるものである。

道路交通センサスは、昭和3年から3～5年ごとに実施してきており、昭和55年度からは、5年ごとに実施することとし、その中間年（3年目）に一般交通量調査のみを行う補完的な調査を実施している。

平成11年度は本調査実施年にあたり、また今回の調査より「道路の多面的な使われ方」や「暮らしと道路の関係」などが把握できるよう調査内容の大幅な見直しを行っており、一般交通量調査、自動車の起終点調査、機能調査、駐車調査の4つの調査で構成されている。（下図参照）

今般、その中の一般交通量調査について結果の概要がまとまったので、記者配布する。



## ○平成11年度調査（一般交通量調査）について

一般交通量調査は、近畿地方整備局管内の高速自動車国道、都市高速道路、一般国道、主要地方道、一般府県道、および政令指定市の市道を対象（22,000km）とし、これらの道路を道路条件、交通条件の著しい変化のない区間に分割して、道路状況、交通量、旅行速度（停止も含めた区間平均速度）について調査（5,200箇所）を行うものである。道路幅員、歩道延長等の道路現況については、その区間を単位として道路管理台帳から集計を行った。交通量については各区間毎に1ヶ所の交通量観測地点を設け、方向別車種別に人手観測により観測を行った。

# ○近畿地方整備局管内の調査結果の概要

## 貨物車の平均交通量が道路合計において低下

○貨物車の平均交通量は、高速自動車国道を除き減少した。

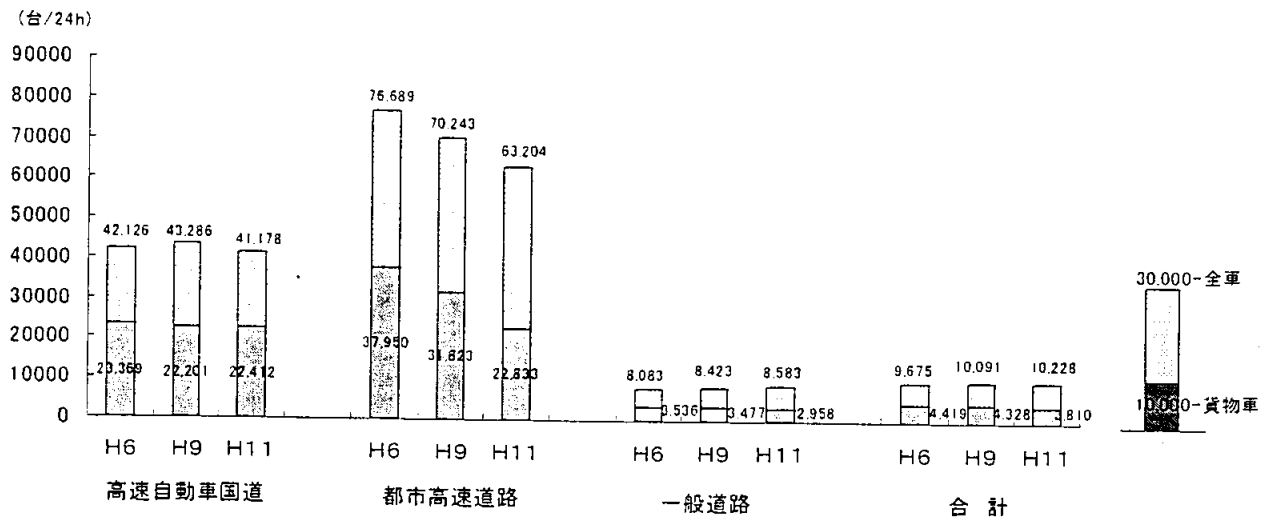


図 全車、貨物車の平均交通量の推移

## 貨物車の走行台キロの伸びはマイナス

○全車の走行台キロは平成9年度から2年間で2%増となったが、乗用車の走行台キロが12%増に対して貨物車の走行台キロは11%減となった。

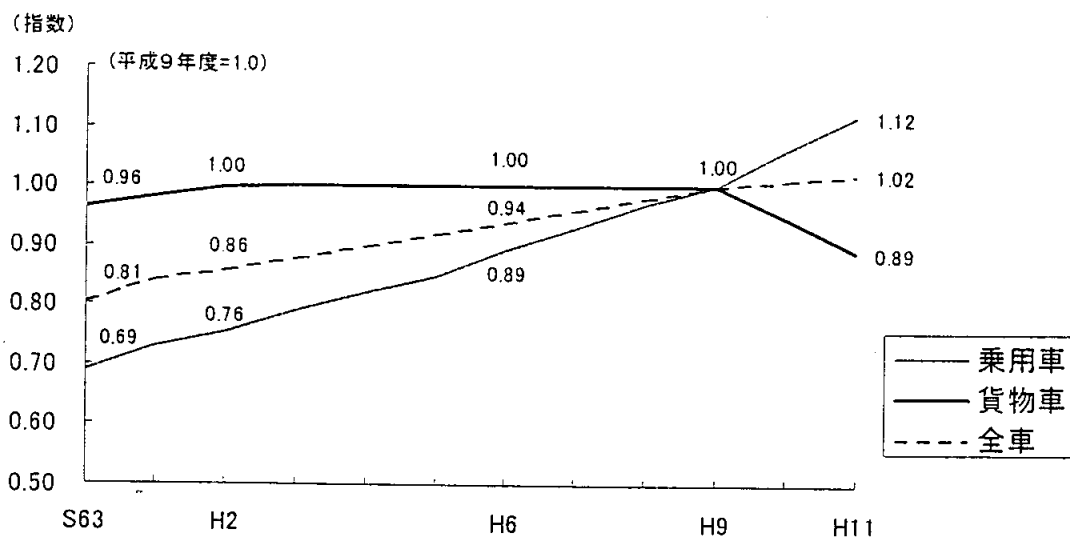


図 車種別自動車走行台キロの推移

## 休日の交通量が平日よりも多い道路の延長割合が減少

○一般都道府県道以上の休日平日交通量が 1.0 以上の道路の延長割合が減少した。(H9年：38.2%→H11年：27.5%)

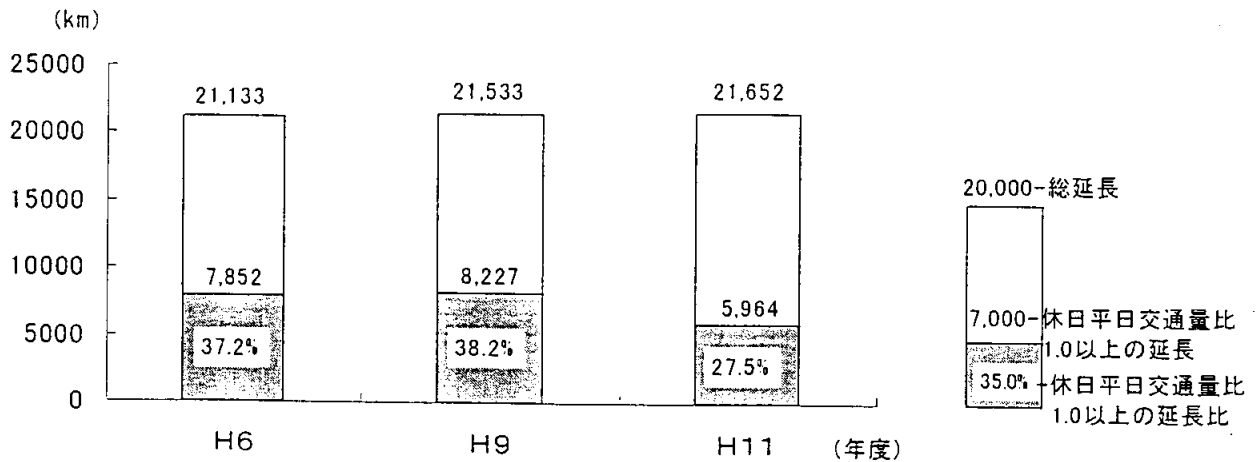


図 休日平日交通量比1.0以上の延長割合の推移

## 平日の都市高速道路の平均旅行速度は上昇

○高速自動車国道、都市高速道路及び道路合計の平均旅行速度は、平成9年度より上昇した。

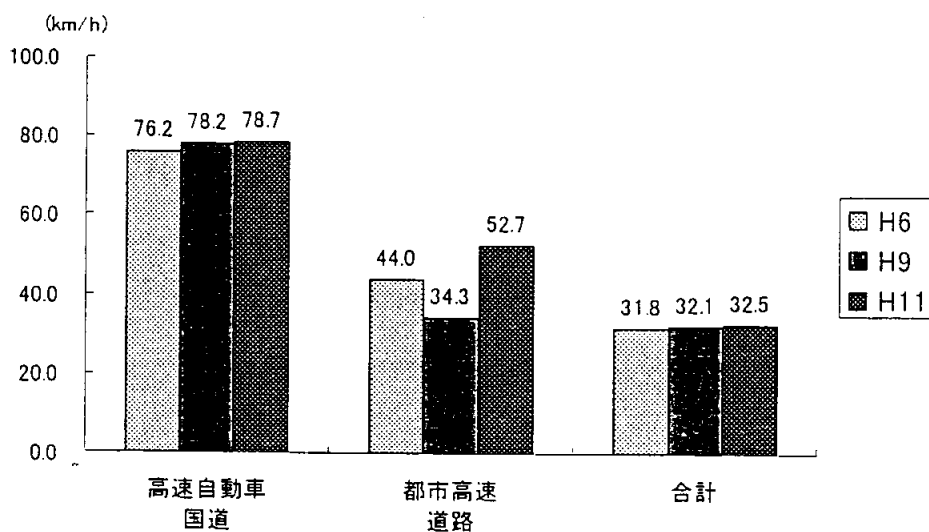


図 道路種別別平均旅行速度の推移(平日)

## 一般道路では休日の方が平日より路上駐車車両数が多い

○一般道路の平均路上駐車車両数は平日が 9.23 台/km、休日が 10.36 台/km と休日の方が多い。

表 平均路上駐車車両数

	平均駐車車両数(台/km)	
	平日	休日
一般道路計	9.23	10.36

注) 1. 平日の値は、休日調査実施区間と同じ区間を対象に集計した。

路上駐車調査は、代表沿道状況が人口集中地区（DID）である区間内で、平日は朝又は夕方いずれかの混雑する時間帯に、休日はピーク時間帯に大型車小型車別に上り下り両方向の路上駐車車両数を調査した。

## 一般道路の歩道設置延長に対する自転車道等設置延長の比率は3.5%

○一般道路において歩道設置延長に対し、自転車通行可能延長の比率は 61.0% (4,312.5km)であるが、自転車道等設置延長の比率は 3.5%(249.0km)である。

表 道路種別別歩道設置延長

	歩道等設置延長(km)				
	延長	うち自転車通行		うち自転車道等	
		可能延長	(%)	設置延長	(%)
一般道路計	7063.9	4312.5	61.0	249.0	3.5

注) 1. 交通不能区間を含む延長

2. 自転車通行可能延長：歩道設置区間延長のうち、自転車道が併設された区間及び交通規制により自転車通行可能となっている区間の延長

3. 自転車道等設置延長：自転車通行可能な歩道設置区間延長のうち自転車道が併設された区間及び区画線等で自転車が通行する部分が指定された区間の延長

## ○調査結果の詳細

## (1) 交通量の状況

- ◎一般府県道以上の自動車走行台キロについて、平成9年度から平成11年度の年平均伸び率は1.0%の伸びとなっている。(図1、表1)
- ◎自動車保有台数の伸びは0.8%/年と、自動車走行台キロの伸び(1.0%)より低い。(図2、表1)
- ◎車種別にみると、平成9年度から平成11年度の年平均伸び率は、乗用車類の伸びが6.0%/年の増、貨物車類は-5.7%/年の減となっている。(図3、表1)
- ◎自動車保有台数と免許保有者数の平成9年度から平成11年度の年平均伸び率は、近畿が全国より低い。(表1)

表1 年平均伸率の推移(%/年)

	H6→H9	H9→H11
自動車走行台キロ(近畿)	2.2	1.0
内、乗用車	4.0	6.0
内、貨物車	0.0	-5.7
自動車保有台数(全国)	2.4	1.2
自動車保有台数(近畿)	2.5	0.8
免許保有者数(全国)	2.0	1.8
免許保有者数(近畿)	2.0	1.7

注) 1. 走行台キロの伸び率は近畿地方建設局管内の値

2. 自動車保有台数は平成11年度末の値

3. 運転免許保有者数は平成11年末の値

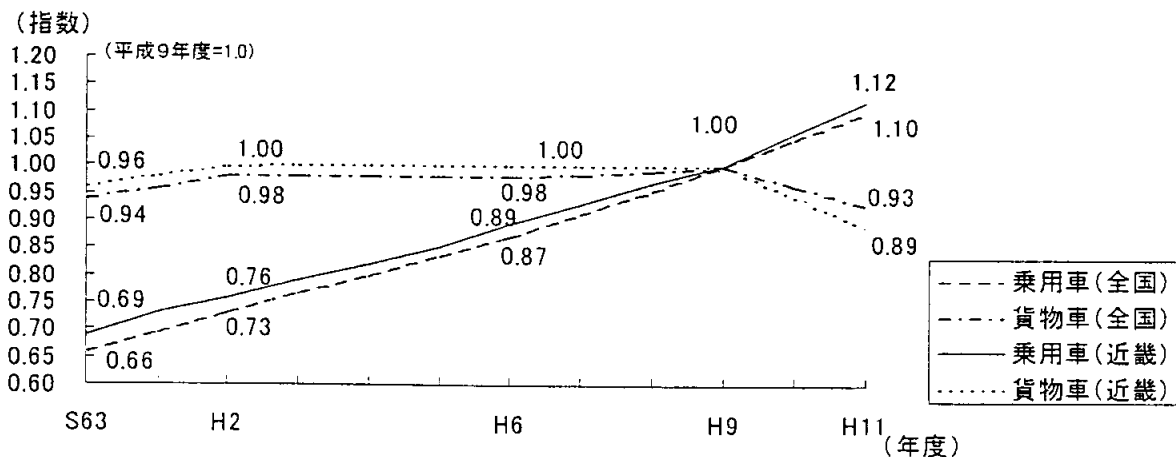


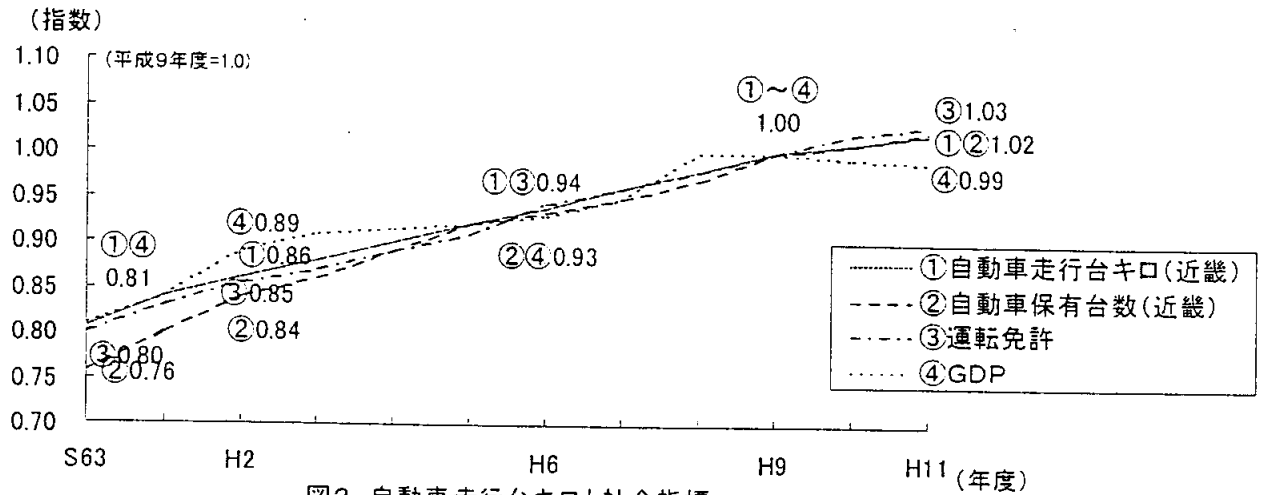
図1 車種別自動車走行台キロの推移

注) 1. 走行台キロ：自動車の走行距離の総和。(調査単位区間延長にその調査単位区間の交通量に乗じて加算した値)

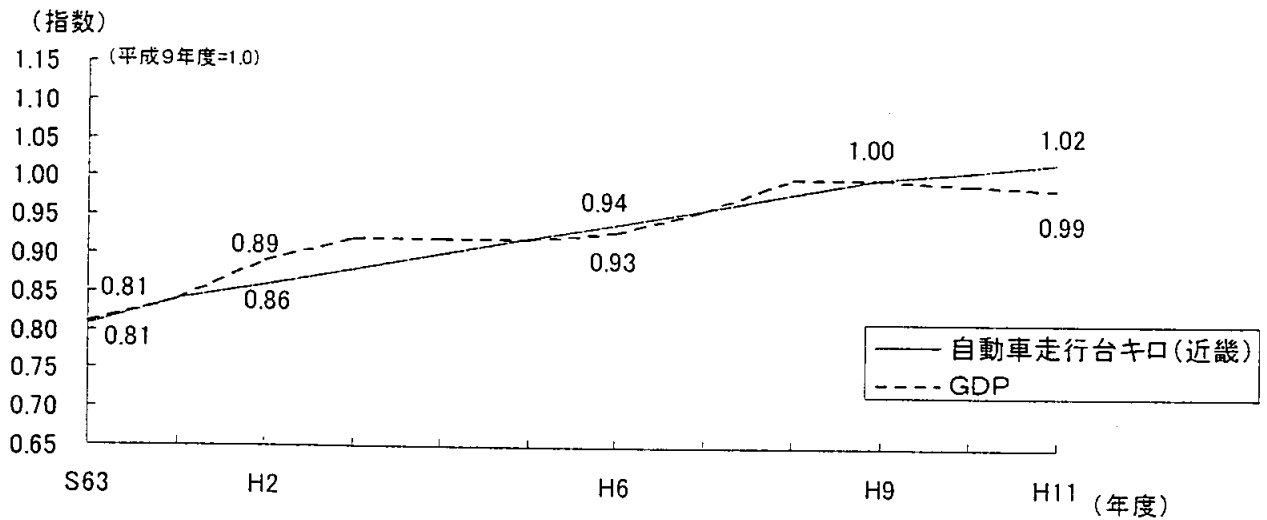
2. 乗用車：乗用車、バス

3. 貨物車：小型貨物車、普通貨物車

4. 一般府県道以上：高速自動車国道、都市高速道路、一般国道、主要地方道(含主要市道)、一般府県道



- 注) 1. 走行台キロは道路交通センサスによる平日24時間走行台キロ。  
 2. 運転免許保有者数(近畿)は、警察庁調べによる平成11年末までの値。  
 3. 自動車保有台数(近畿)は、運輸省調べによる平成11年度末までの値。  
 4. GDPは経済企画庁「国民経済計算年報」による実質(H2暦年基準価格)。  
 平成11年値は速報値。



- 注) 1. 走行台キロは道路交通センサスによる平日24時間走行台キロ。  
 2. GDPは経済企画庁「国民経済計算年報」による実質(H2暦年基準価格)。  
 平成11年値は速報値。

①車種別平均交通量の推移

◎貨物車が占める平均交通量の割合は、平成9年度の42.9%から平成11年度の37.3%に低下している。都市高速道路の貨物車平均交通量は、平成9年度の31,823(台/24h)から平成11年度には22,833(台/24h)に低下している。

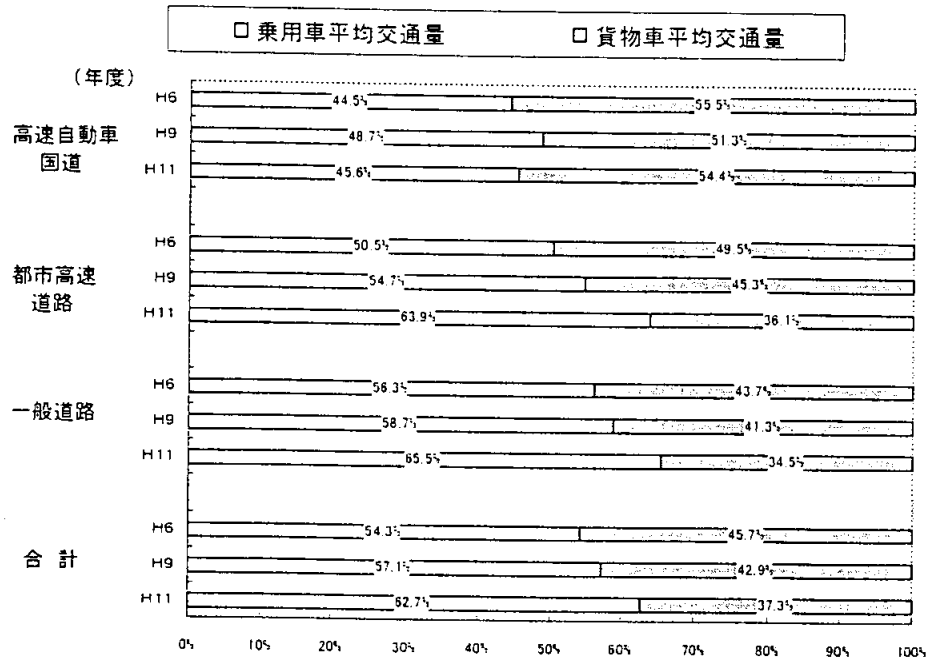


図4 平均交通量の車種別構成比の推移

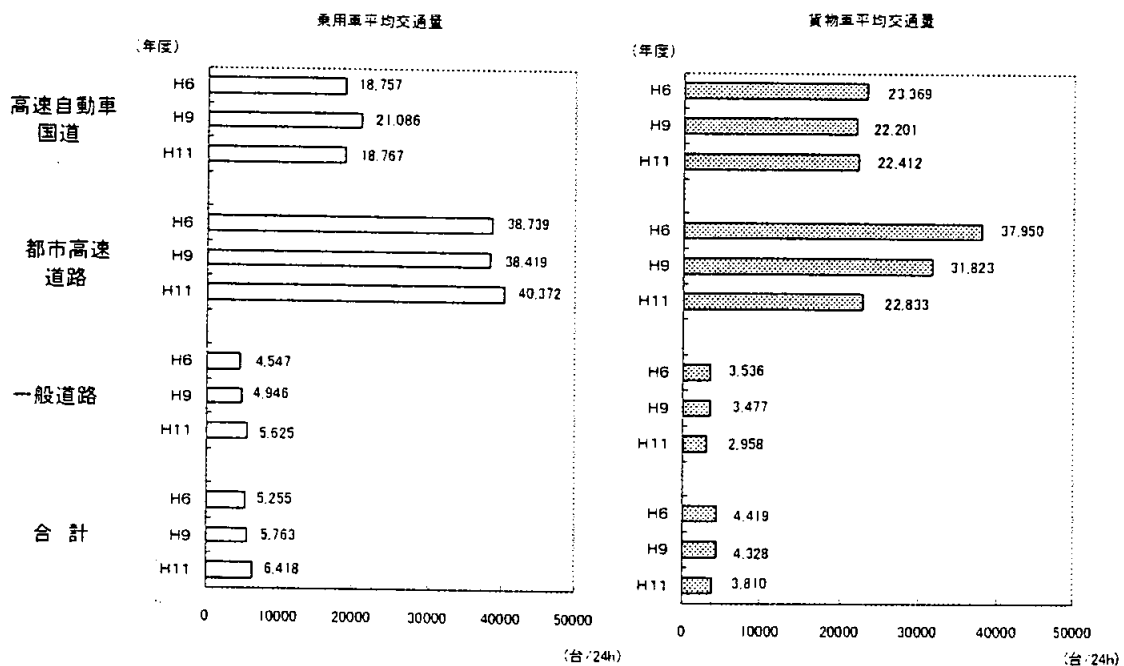


図5 車種別平均交通量の推移

注) 1. 平均交通量：各調査単位区間ごとの交通量を加重平均したもので、走行台キロを総延長で除した値(平日24時間値)



## ②夜間交通量の状況

◎夜間交通量の日交通量に対する比率は、都市高速道路では平成9年度の31.0%から、平成11年度には28.2%に低下している。

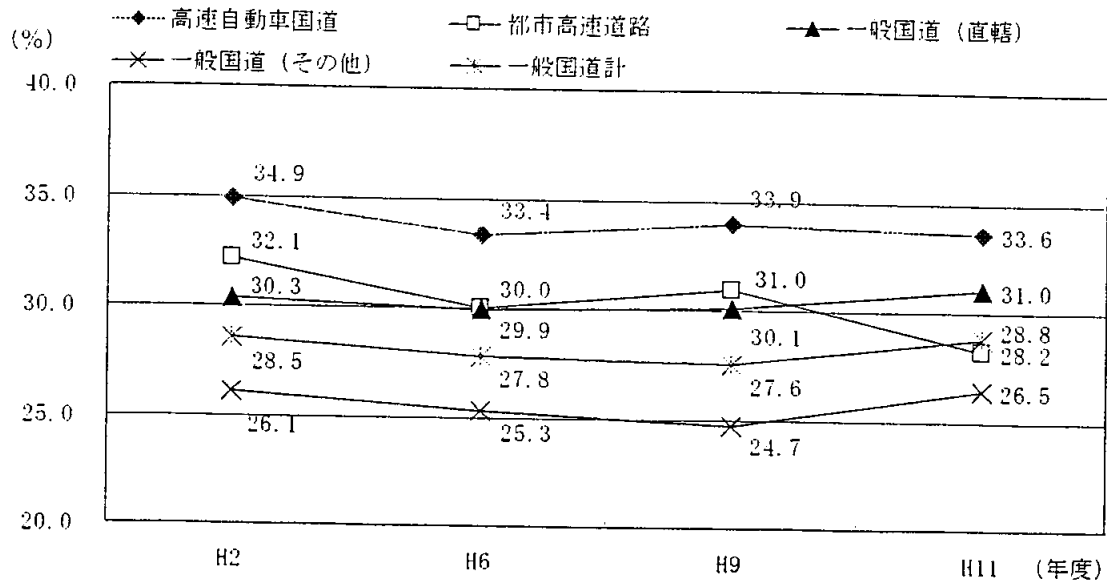


図6 道路種別別夜間交通量比の推移

注) 1. グラフ内の数値は夜間交通量の日交通量に対する比率である。

## ③大型車混入率の状況

◎平日の大型車混入率は、一般府県道以上の合計では平成9年度の18.9%から、平成11年度には17.5%に低下している。

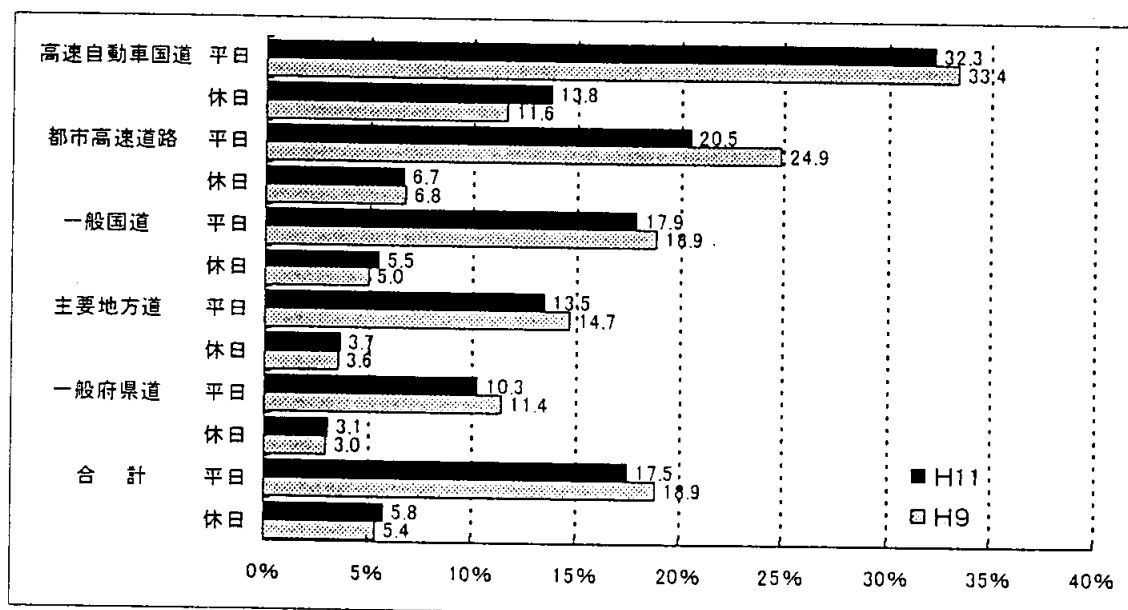


図7 道路種別ごとの平日、休日大型車混入率

注) 1. 大型車混入率: 全通行車両に対する大型車(バス、普通貨物車)の比率(12時間大型車混入率)

④ 休日交通量と平日交通量の比較

◎平成11年度の一般都道府県道以上の休日の平均交通量は、平成9年度と比較して低下している。

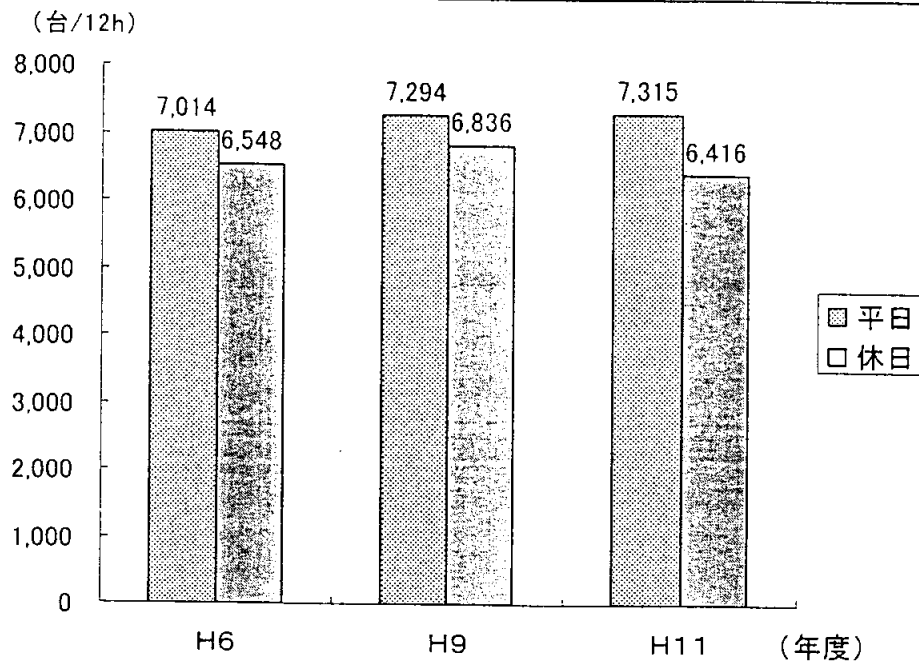


図8 平日、休日平均交通量の推移

◎休日平日交通量比が1.0以上の道路の延長割合は、平成9年度の38.2%から平成11年度には27.5%に低下している。

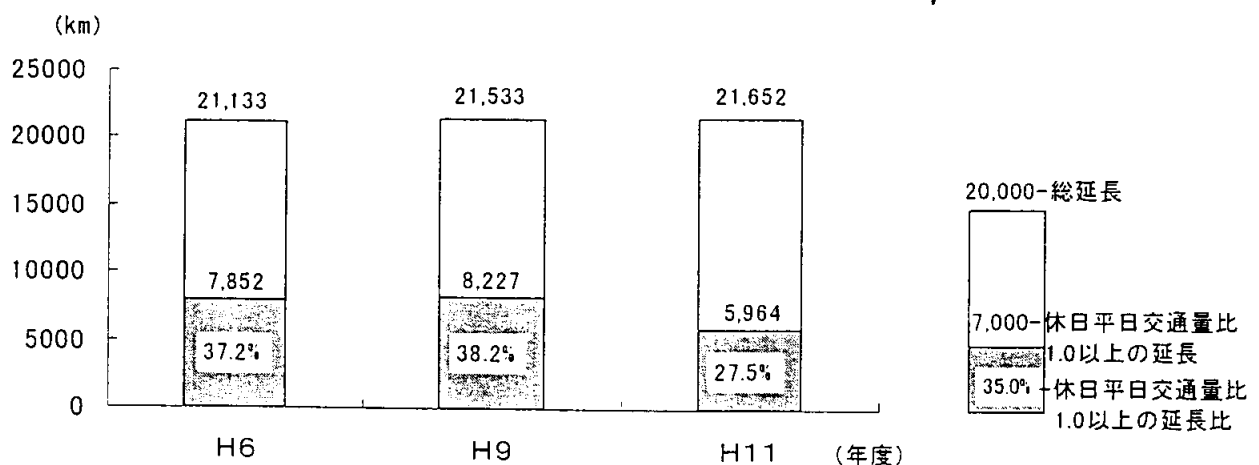


図9 休日平日交通量比1.0以上の延長割合の推移

注) 1. 休日平日交通量比: 休日交通量を平日交通量で除したもの。

## ⑤近畿の各府県別自動車走行台キロの比較

◎各府県別の自動車走行台キロは、全車では奈良県を除き微ながら上昇している。乗用車類では和歌山県、大阪府において伸びている。また貨物車類は各府県で減少している。

平成11年度の近畿における各府県別の自動車走行台キロの割合は、大阪府、兵庫県が多い。

表2 自動車走行台キロの各府県別の伸び(H11/H9)

		乗用車類		貨物車類		全車	
		(千台キロ)	伸び	(千台キロ)	伸び	(千台キロ)	伸び
大阪府	H11	44,248		23,862		68,110	
	H9	38,344	1.15	28,965	0.82	67,310	1.01
兵庫県	H11	37,332		23,304		60,636	
	H9	33,315	1.12	25,805	0.90	59,119	1.03
京都府	H11	15,546		8,644		24,189	
	H9	14,126	1.10	9,839	0.88	23,965	1.01
奈良県	H11	9,221		5,196		14,417	
	H9	8,764	1.05	5,775	0.90	14,539	0.99
和歌山県	H11	9,055		5,009		14,064	
	H9	7,774	1.16	5,557	0.90	13,331	1.05
福井県	H11	9,479		5,905		15,383	
	H9	8,682	1.09	6,266	0.94	14,948	1.03
滋賀県	H11	14,082		10,583		24,664	
	H9	13,066	1.08	10,984	0.96	24,050	1.03
近畿管内合計	H11	138,963		82,501		221,465	
	H9	124,072	1.12	93,190	0.89	217,262	1.02

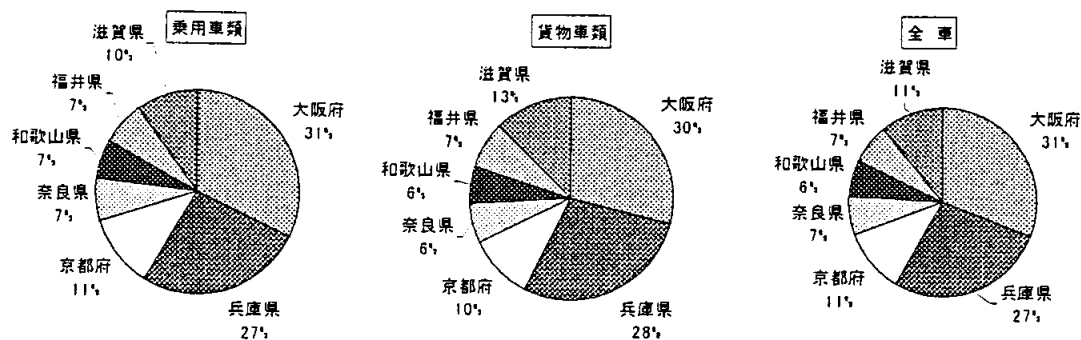


図10 平成11年度車種別各府県別の自動車走行台キロの割合

## (2) 旅行速度

### ① 道路種別別平均旅行速度の推移

◎平成11年度の平日の平均旅行速度は、一般府県道以上の合計では平成9年度と比較して、0.4km/h、休日については0.3km/h上昇している。

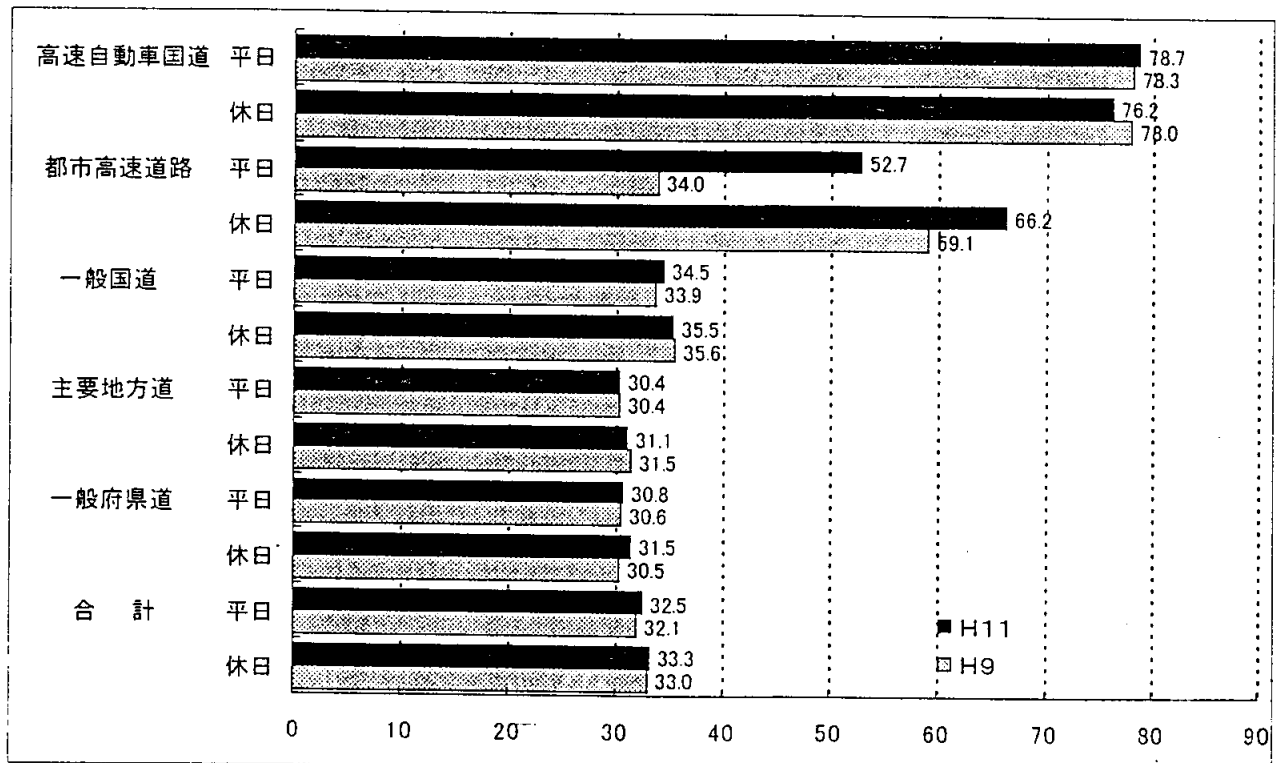


図11 道路種別ごとの平日、休日の混雑時旅行速度

注) 1. 旅行速度：調査区間長を混雑時の走行所要時間で除した平均速度

2. 混 雑 時：平日は朝又は夕方の混雑する時間帯

休日は1日の中で最も混雑する時間帯

## ②道路種別別平均旅行速度の推移 (DID)

◎平成11年度の平日の平均旅行速度は、一般府県道以上の合計では平成9年度と比較して、0.5km/h、休日については1.9km/h低下している。

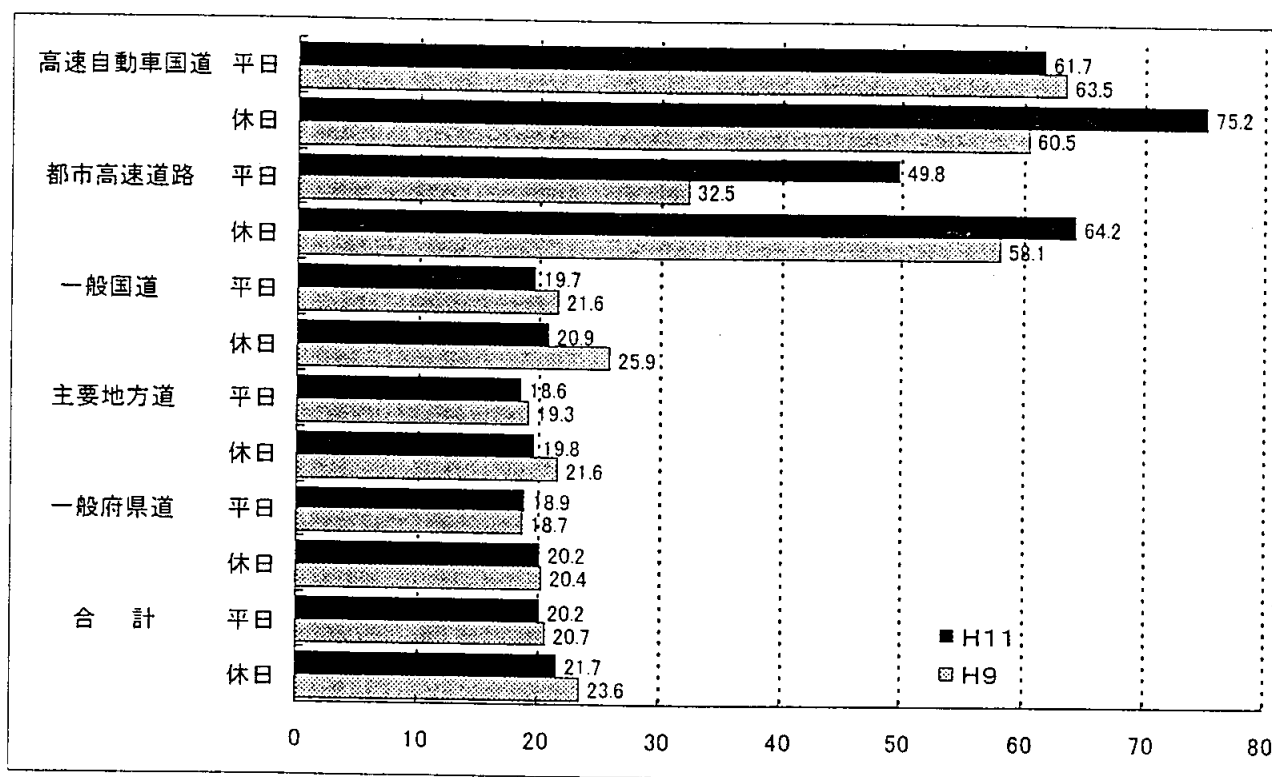


図12 道路種別ごとの平日、休日の混雑時旅行速度(DID)

注) 1. DID: 人口集中地区。市町村の境界内で人口密度の高い基本単位区(約4,000人/km<sup>2</sup>以上)が隣接して、それらの人口が5,000人以上となる地域。

③速度のサービス水準の低い道路のシェア

◎ DID 内の一般国道での混雑時平均旅行速度が 20km/h 未満というサービス水準の低い道路は、平成 9 年度の 33.5%から、平成 11 年度には 36.2%と増加している。

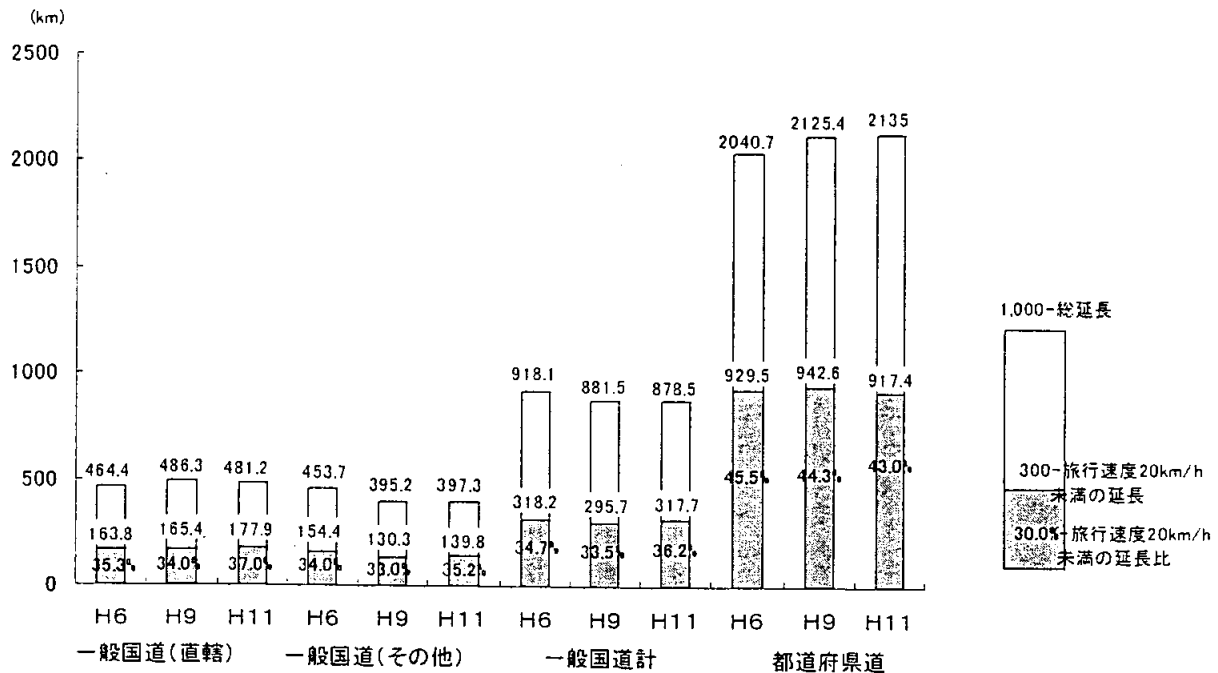


図13 速度のサービス水準の低い道路のシェアの推移

注) 1. 都道府県道とは主要地方道と一般都道府県道の合計。

(3) 道路整備水準（一般道路）

◎一般道路の道路整備水準については、歩道設置、幅の広い歩道設置、四車線化、道路緑化のいずれの項目についても過去から着実に増加している。また道路と鉄道との平面交差の密度は低くなっているものの、平成11年度では依然 31.1 箇所/千 km である。

表3 一般道路の整備水準の推移

年度	歩道設置				四車線化		道路緑化		鉄道平面交差		調査延長 (km)
	延長 (km)	率 (%)	うち幅広 歩道(km)	率 (%)	延長 (km)	率 (%)	延長 (km)	率 (%)	箇所数	密度 箇所/千km	
S58	4,145.4	20.9	1,120.4	5.6	1,203.1	6.1			761	38.3	19,875.1
S60	4,609.1	23.2	1,273.9	6.4	1,275.7	6.4	1,279.5	6.4	707	35.6	19,837.9
S63	5,155.8	25.8	1,428.5	7.1	1,370.6	6.9	1,533.0	7.7	693	34.6	20,001.3
H2	5,557.6	27.6	1,549.3	7.7	1,446.8	7.2	1,641.0	8.2	670	33.3	20,103.4
H6	6,212.5	30.7	1,730.1	8.5	1,579.1	7.8	1,789.6	8.8	682	33.7	20,262.3
H9	6,740.0	32.6	1,990.8	9.6	1,746.8	8.5	2,092.1	10.1	660	32.0	20,652.0
H11	7,063.9	34.1	2,163.6	10.4	1,825.5	8.8	2,138.6	10.3	643	31.1	20,708.5

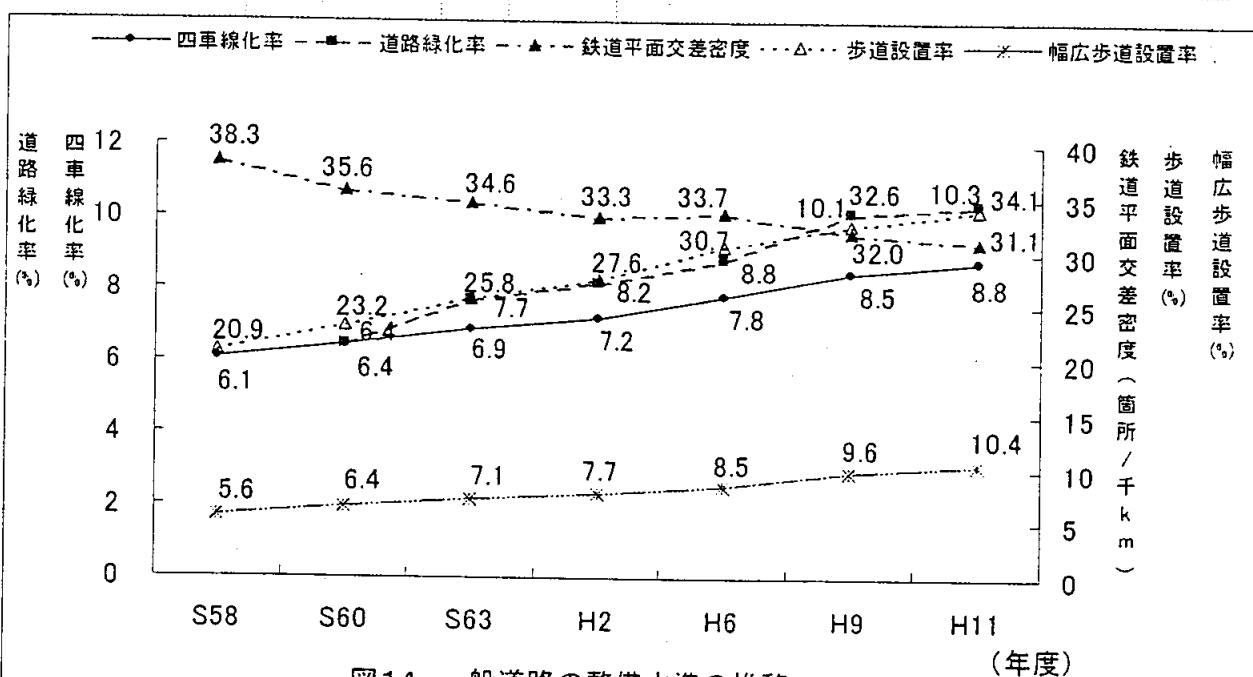


図14 一般道路の整備水準の推移

- 注) 1. 一般道路：一般国道、主要地方道（含主要市道）、一般府県道  
 2. 幅広歩道：歩道幅員が3 m以上の歩道  
 3. 四車線化：車線数が4車線以上で整備された道路  
 4. 道路緑化：道路内に植樹帯、路傍植栽、街路樹、中央分離帯・交通島の植栽が形成されている道路  
 5. 鉄道平面交差：遮断機の有無にかかわらず踏切の数  
 6. 交通不能区間は除く。ただし歩道延長と調査延長は交通不能区間を含む。  
 7. 交通不能区間：幅員、曲線半径、勾配、路面、建築限界、設計荷重その他の道路の状況により、最大積載量4トン以上の貨物自動車が行き通れない区間。したがって、乗用車等は通行できる場合がある。

## (4) 路上駐車車両数

◎近畿地方整備局管内の人口集中地区（DID）内における一般道路の平均路上駐車車両数は平日が 9.23 台/km、休日が 10.36 台/km となっており、休日の方が多くなっている。

路上駐車調査は、今回新規に行われた調査の一つで、代表沿道状況が人口集中地区（DID）である区間内で、（旅行速度調査と同時に）平日は朝又は夕方の方のいずれかの混雑時間帯に、休日はピーク時間帯に大型車小型車別に上り下り両方向の路上駐車車両数を調査した。

表4 近畿地方整備局管内の道路種別別平均路上駐車車両数

	DID旅行速度 調査延長(km)	平均駐車車両数(台/km)	
		平日	休日
一般国道(直轄)	481.2	6.86	7.35
一般国道(その他)	383.4	8.88	10.06
主要地方道	927.1	11.66	12.78
一般都道府県道	618.2	7.64	9.26
一般道路計	2409.9	9.23	10.36

注) 1. 一般道路:一般国道、主要地方道(含主要市道)、一般府県道

2. 一般国道(その他)には、一般有料道路を含まない。

3. 平日の値は、休日調査実施区間と同じ区間を対象に集計した。

4. 混雑時間帯:朝又は夕方の方の混雑する時間帯

5. ピーク時間帯:1日の中で最も混雑する時間帯

## (5) 自転車通行帯延長

◎歩道設置延長に対する自転車通行可能延長の比率は一般道路計 61.0%(4312.5km)であるが、自転車道等設置延長の比率は 3.5%(249.0km)である。

	延長	うち自転車通行		うち自転車道等		代表幅員 m
		可能延長	(%)	設置延長	(%)	
一般国道(直轄)	1232.1	814.3	66.1	7.1	0.6	2.85
一般国道(その他)	1486.9	855.1	57.5	71.0	4.8	2.54
主要地方道	2489.4	1520.4	61.1	135.7	5.5	2.84
一般都道府県道	1855.5	1122.7	60.5	35.2	1.9	2.46
一般道路計	7063.9	4312.5	61.0	249.0	3.5	2.68

注) 1. 交通不能区間を含む延長

2. 自転車通行可能延長:歩道設置区間延長のうち、自転車道が併設された区間及び交通規制により自転車通行可能となっている区間の延長

3. 自転車道等設置延長:自転車通行可能な歩道設置区間延長のうち自転車道が併設された区間及び区画線等で自転車が通行する部分が指定された区間の延長



## ○ 12時間観測地点による集計

表-1 平日12時間交通量の上位10傑(高速自動車国道)

順位	自動車類交通量 (台/12h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	82,491	48.4%	51.6%	名神高速道路	茨木IC～吹田JCT間(吹田市)
2	78,846	50.5%	49.5%	近畿自動車道	摂津南IC～摂津北IC間(摂津市)
3	75,239	48.8%	51.2%	近畿自動車道	東大阪北IC～大東鶴見IC間(鶴見区)
4	74,658	64.8%	35.2%	阪和自動車道	松原JCT～松原IC間(松原市)
5	73,876	51.7%	48.3%	近畿自動車道	松原JCT～長原IC間(平野区)
6	71,709	53.4%	46.6%	中国自動車道	宝塚IC～西宮北IC(西宮市)
7	71,074	47.0%	53.0%	名神高速道路	府境(京都府・大阪府)～茨木IC
8	68,310	48.7%	51.3%	近畿自動車道	門真IC～摂津南IC間(守口市)
9	66,797	51.8%	48.2%	近畿自動車道	八尾IC～東大阪南IC間(八尾市)
10	63,031	49.3%	50.7%	名神高速道路	吹田JCT～吹田IC間(吹田市)

表-2 平日12時間交通量の上位10傑(都市高速道路)

順位	自動車類交通量 (台/12h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	100,261	57.9%	42.1%	高速大阪東大阪線	大阪市中央区船場中央2丁目
2	82,948	68.1%	31.9%	高速大阪池田線	大阪市西区新町1丁目
3	82,662	70.8%	29.2%	高速大阪池田線	大阪市中央区島之内1丁目
4	79,930	55.9%	44.1%	高速大阪東大阪線	大阪市東成区東今里1丁目
5	71,538	79.2%	20.8%	高速大阪池田線	大阪市西淀川区歌島4丁目
6	63,205	63.1%	36.9%	高速神戸西宮線	神戸市中央区新港町15
7	60,882	59.4%	40.6%	高速神戸西宮線	芦屋市精道町
8	60,352	57.7%	42.3%	高速大阪東大阪線	大阪市港区石田3丁目
9	59,501	59.7%	40.3%	高速大阪堺線	大阪市西成区千本北2丁目
10	54,675	53.2%	46.8%	高速大阪守口線	大阪市北区長柄東2丁目

表-3 平日12時間交通量の上位10傑(一般道路)

順位	自動車類交通量 (台/12h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	89,185	69.7%	30.3%	一般国道423号	吹田市広芝町
2	81,813	44.2%	55.8%	大阪中央環状線	東大阪市本庄
3	76,871	57.7%	42.3%	一般国道2号	姫路市北原
4	59,359	49.6%	50.4%	一般国道43号	西宮市浜脇町
5	57,286	68.3%	31.7%	一般国道1号	京都市東山区清閑寺山ノ内町45-6
6	56,271	72.0%	28.0%	一般国道310号	堺市中安井町3丁目
7	55,618	76.6%	23.4%	富田林泉大津線	堺市若松台1丁目
8	55,438	67.4%	32.6%	一般国道26号	堺市浜寺船尾町東3丁目
9	53,221	68.9%	31.1%	京都広河原美山線	中京区堀川通姉小路下ル姉西堀川町
10	50,483	61.8%	38.2%	一般国道171号	京都市南区久世川原町

注) 1. 一般国道の一般有料道路を除く。

2. 一般道路については同一路線で複数の区間が対象となった場合は、上位の区間のみ示した。

3. 車線数が4以上の区間を対象とした。

表-4 休日12時間交通量の上位10傑(高速自動車国道)

順位	自動車類交通量 (台/12h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	63,269	80.4%	19.6%	名神高速道路	茨木IC～吹田JCT間(吹田市)
2	62,439	84.2%	15.8%	中国自動車道	宝塚IC～西宮北IC(西宮市)
3	59,707	83.8%	16.2%	西名阪自動車道	柏原IC～藤井寺IC間(藤井寺市)
4	57,301	85.2%	14.8%	阪和自動車道	松原JCT～松原IC間(松原市)
5	56,873	79.5%	20.5%	名神高速道路	府境(京都府・大阪府)～茨木IC
6	56,603	86.6%	13.4%	近畿自動車道	松原JCT～長原IC間(平野区)
7	53,424	83.8%	16.2%	中国自動車道	(兵庫県・神戸市境)～神戸JCT(北区)
8	52,662	85.1%	14.9%	西名阪自動車道	香芝IC～県境(奈良県・大阪府)(香芝市)
9	52,652	83.3%	16.7%	中国自動車道	県境(大阪府・兵庫県)～宝塚IC
10	50,369	84.9%	15.1%	近畿自動車道	摂津南IC～摂津北IC間(摂津市)

表-5 休日12時間交通量の上位10傑(都市高速道路)

順位	自動車類交通量 (台/12h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	79,275	86.5%	13.5%	高速大阪東大阪線	大阪市中央区船場中央2丁目
2	66,415	89.8%	10.2%	高速大阪池田線	大阪市西区新町1丁目
3	55,804	86.7%	13.3%	高速神戸西宮線	芦屋市精道町
4	54,190	82.7%	17.3%	高速大阪池田線	大阪市西淀川区歌島4丁目
5	52,502	89.2%	10.8%	高速大阪池田線	大阪市中央区島之内1丁目
6	50,937	83.0%	17.0%	高速大阪東大阪線	大阪市東成区東今里1丁目
7	50,467	81.9%	18.1%	高速神戸西宮線	神戸市中央区新港町15
8	43,258	82.9%	17.1%	高速大阪東大阪線	大阪市港区石田3丁目
9	41,896	85.8%	14.2%	高速大阪堺線	大阪市西成区千本北2丁目
10	41,644	89.0%	11.0%	高速大阪松原線	大阪市平野区瓜破6丁目

表-6 休日12時間交通量の上位10傑(一般道路)

順位	自動車類交通量 (台/12h)	乗用車 構成比 (%)	貨物車 構成比 (%)	路線名	交通量観測地点名
1	79,330	88.9%	11.1%	一般国道423号	吹田市広芝町
2	73,211	91.5%	8.5%	大阪中央環状線	豊中市緑丘2丁目
3	67,912	59.9%	40.1%	一般国道308号	東大阪市長田中2丁目
4	57,290	88.0%	12.0%	一般国道2号	加古川市加古川町河原
5	55,863	84.1%	15.9%	富田林泉大津線	堺市若松台1丁
6	54,218	90.2%	9.8%	一般国道310号	堺市中安井町3丁
7	52,597	94.7%	5.3%	一般国道176号	池田市神田2丁目
8	51,451	86.2%	13.8%	一般国道1号	京都市伏見区横大路千両松町
9	47,844	88.1%	11.9%	堺狭山線	堺市深阪
10	47,156	86.8%	13.2%	一般国道26号	泉大津市東豊中町1丁目

注) 1. 一般国道の一般有料道路を除く。

2. 一般道路については同一路線で複数の区間が対象となった場合は、上位の区間のみ示した。

3. 車線数が4以上の区間を対象とした。

表-7 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10傑（高速自動車国道）

順位	交通量（台/12h）		平休比	路線名	交通量観測地点名
	平日交通量	休日交通量			
1	11,779	14,548	1.24	阪和自動車道	海南東IC～海南IC間（海南市）
2	12,813	15,813	1.23	北陸自動車道	福井・滋賀県境～木之本IC間
3	14,232	17,217	1.21	阪和自動車道	和歌山IC～海南東IC間（和歌山市）
4	8,751	10,442	1.19	中国自動車道	山崎IC～佐用IC（兵庫県山崎町）
5	14,094	16,655	1.18	北陸自動車道	長浜IC～木之本IC間
6	19,422	21,939	1.13	阪和自動車道	貝塚IC～泉佐野JCT間（貝塚市）
7	18,718	21,236	1.13	阪和自動車道	泉南IC～阪南IC間（泉南市）
8	10,179	11,550	1.13	中国自動車道	福崎IC～山崎IC（兵庫県安富町）
9	12,385	13,934	1.13	舞鶴自動車道	三田西IC～丹南篠山口IC（三田市）
10	9,341	10,585	1.13	舞鶴自動車道	丹南篠山口IC～春日IC（多紀郡西紀町）

注）1. 休日交通量が10,000台/12hを対象とした。

表-8 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10傑（都市高速道路）

順位	交通量（台/12h）		平休比	路線名	交通量観測地点名
	平日交通量	休日交通量			
1	9,507	13,010	1.37	高速湾岸線	神戸市垂水区名谷町
2	10,482	10,935	1.04	高速大阪池田線	池田市神田
3	35,511	33,934	0.96	高速湾岸線	泉大津市汐見町
4	34,346	32,879	0.96	高速大阪東大阪線	東大阪市中野
5	41,206	38,945	0.95	高速湾岸線	高石市高砂1丁目
6	60,882	55,804	0.92	高速神戸西宮線	芦屋市精道町
7	12,693	11,410	0.9	高速北神戸線	神戸市西区伊川谷町前開字洪谷
8	13,709	12,263	0.89	高速北神戸線	神戸市北区有野町唐櫃
9	13,690	12,032	0.88	高速北神戸線	神戸市北区山田町下谷上
10	50,179	41,644	0.83	高速大阪松原線	大阪市平野区瓜破6丁目

注）1. 休日交通量が10,000台/12hを対象とした。

表-9 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10傑（一般道路）

順位	交通量（台/12h）		平休比	路線名	交通量観測地点名
	平日交通量	休日交通量			
1	1,873	4,528	2.42	豊中亀岡線	箕面市箕面
2	2,119	4,846	2.29	一般国道367号	大津市葛川坊村町
3	5,470	11,041	2.02	一般国道303号	遠敷郡上中町熊川
4	1,783	3,548	1.99	一般国道169号	吉野郡川上村大字上多古
5	5,954	11,854	1.99	天理環状線	天理市豊井町
6	1,516	3,014	1.99	岬加太港線	和歌山市深山
7	2,843	5,441	1.91	一般国道372号	篠山市川原
8	2,084	3,822	1.83	信貴山線	生駒郡三郷町大字勢野
9	2,676	4,545	1.7	一般国道168号	吉野郡西吉野村大字阪巻180-2
10	2,211	3,727	1.69	一般国道367号	高島郡朽木村市場

注）1. 休日交通量が3,000台/12hを対象とした。

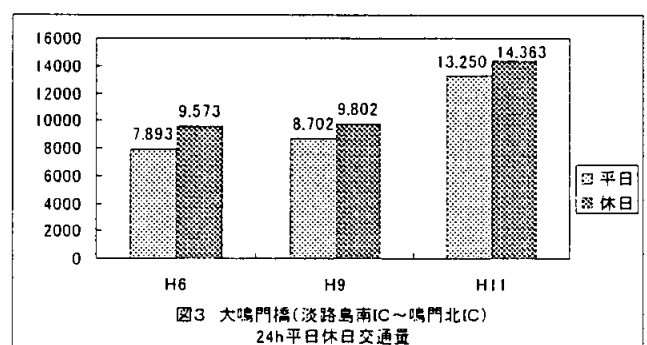
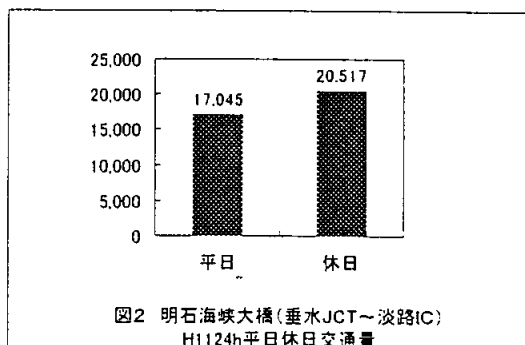
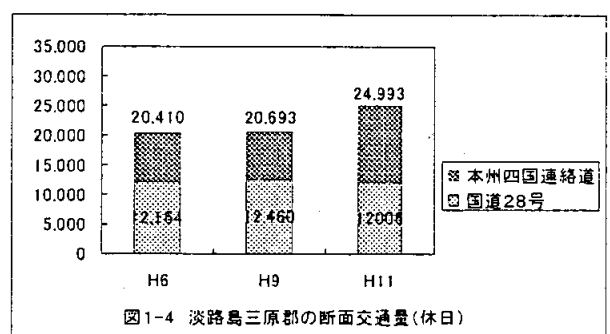
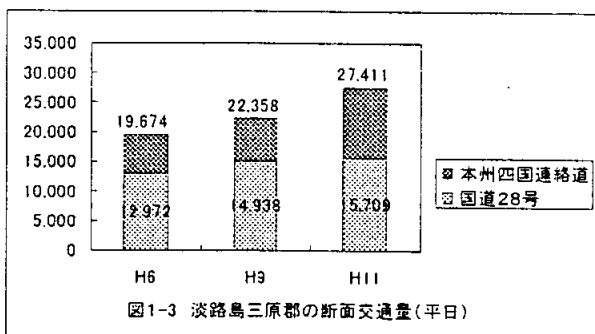
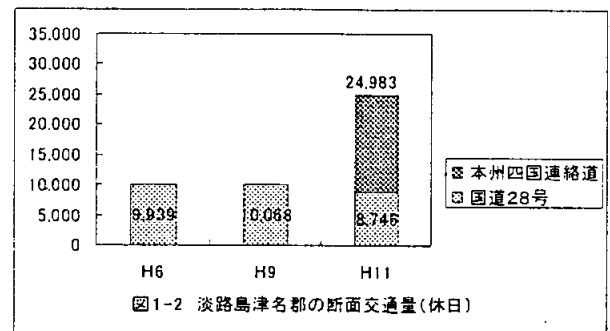
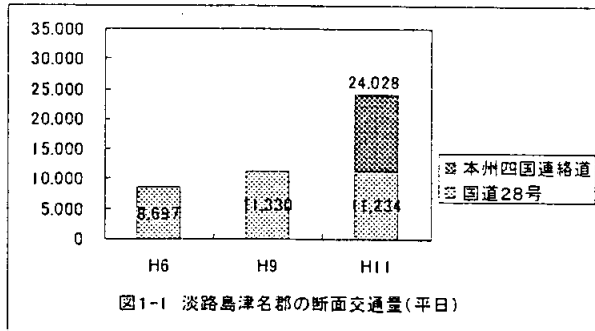
◇参考資料

○平成10年4月、神戸淡路鳴門自動車道開通、山陽自動車道全通前後の交通量の比較

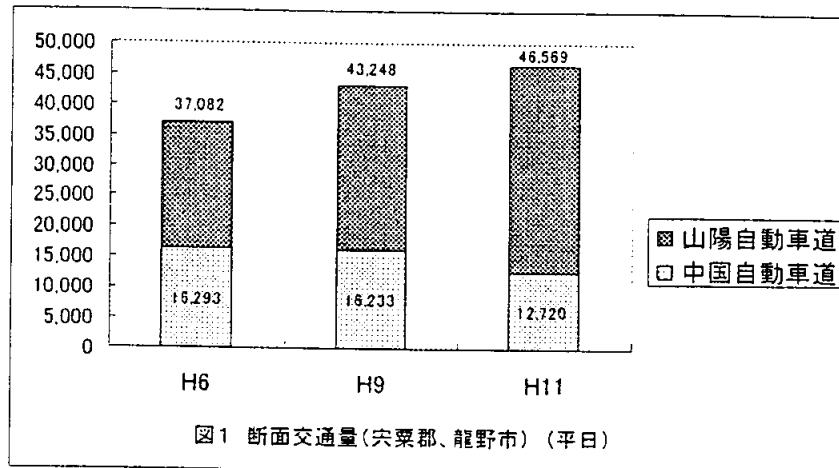
◎淡路島内の断面交通量を比較すると、国道28号の休日の交通量は開通後（H11）減少しているが、神戸淡路鳴門自動車道との和でみると21%～148%増加している。（図1-1、2、3、4）

神戸淡路鳴門自動車道開通前後での平日休日の交通量については、平成11年度より調査を開始（一部平成9年度調査も実施）し比較すると休日交通量の方が多くなっている。（図2）

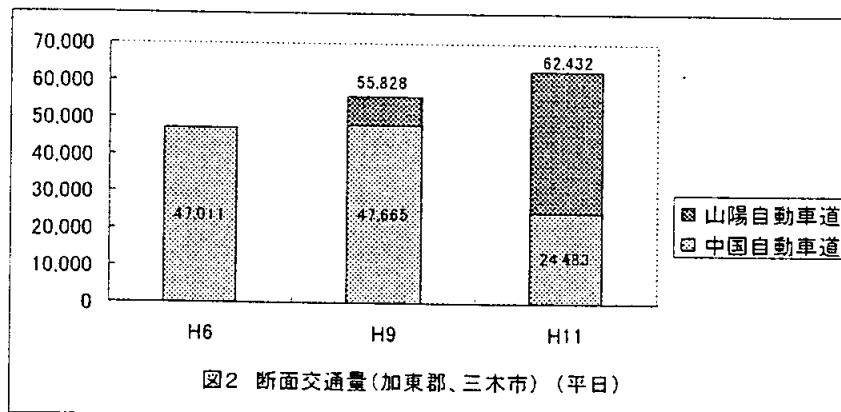
大鳴門橋の交通量については、開通前（H9）に比べ平日で52%、休日で47%の増加となっている。（図3）



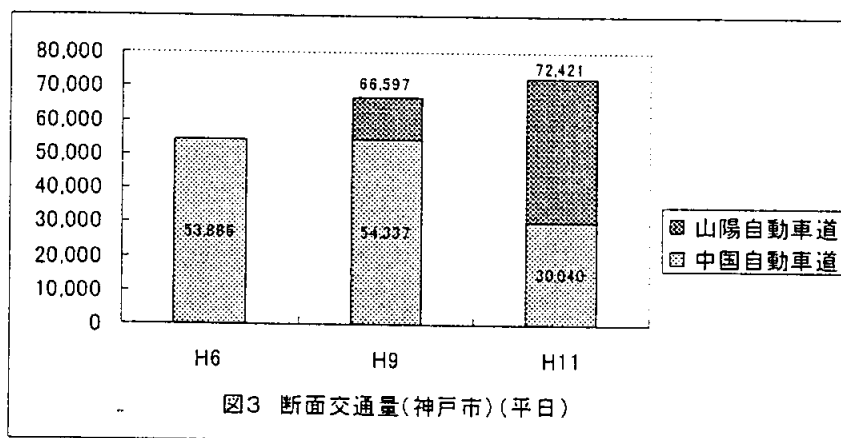
◎山陽自動車道の全通前後では、平行する中国自動車道の交通量が山陽自動車道全通後に大きく減少している。一方、中国自動車道と山陽自動車道の交通量の合計は増加傾向にある。



※中国自動車道：山崎IC～佐用IC  
山陽自動車道：龍野IC～龍野西IC



※中国自動車道：ひょうご東IC～滝野IC  
山陽自動車道：三木東IC～三木小野IC



※中国自動車道：吉川JCT～吉川IC  
山陽自動車道：神戸北IC～三木JCT

平成13年 1月 18日  
国土交通省道路局企画課

## 平成11年度 新・道路交通センサス 一般交通量調査の結果の速報について

道路と道路交通の実態を把握するために昭和3年から始まった全国道路交通情勢調査(通称:道路交通センサス)は、昭和55年頃にほぼ現在の調査体系が確立し、約20年が経過しました。

その後、社会情勢や生活様式の変化等により、道路の役割あるいは道路の使われ方も変化してきており、さらに今後は少子高齢化社会の到来等に伴い、道路に関していっそう多様なニーズが求められることとなります。

このため、平成11年度に、「道路の多面的な使われ方」や「暮らしと道路の関係」などが把握できるように大幅な調査内容の見直しを行い、「新・道路交通センサス」として新たに衣替えし、平日調査を平成11年10月7日、休日調査を10月3日に実施しました。これにより道路の果たしている社会的な機能・役割が明らかになります。

今般、その中の一般交通量調査について結果の概要がまとまったので、記者発表いたします。

なお、各地方整備局においても同時にそれぞれ記者発表を行います。

問合わせ先

道路局企画課道路経済調査室

課長補佐 多田 智

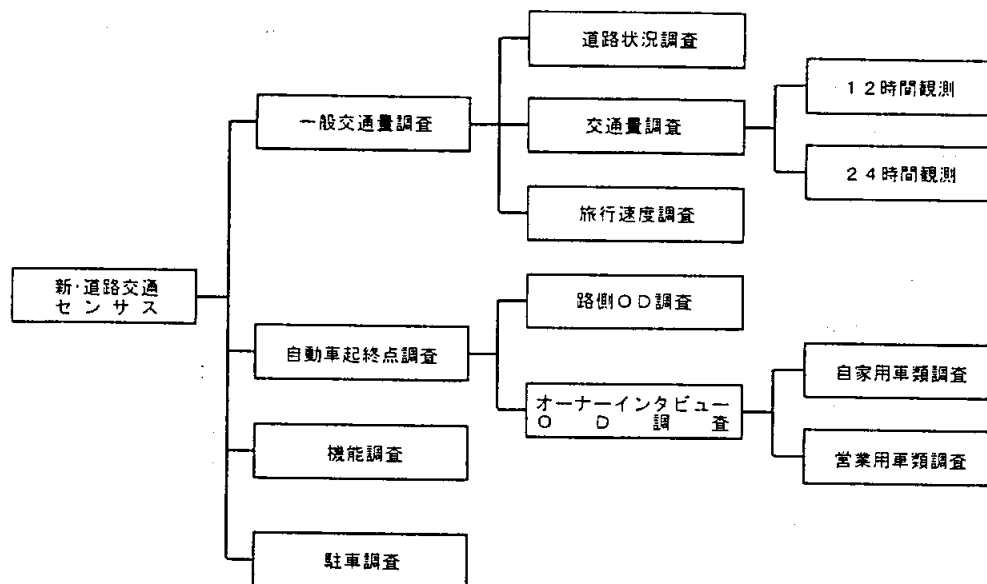
TEL:03-5253-8111(内37632)

TEL:03-5253-8487(夜間)

## ●新・道路交通センサスの概要

新・道路交通センサスは全国の道路と道路交通の実態を把握する調査で、調査結果は地域の道路交通状況の分析、将来交通需要の予測、ライフスタイルの把握などに活用され将来のニーズに合わせた道づくりを行うものである。

新・道路交通センサスは平成11年に機能調査を加え、4つの調査からなり、道路と自動車交通に関するさまざまな項目を調査している。本報告は一般交通量調査についての結果の概要を示すものである。



道路交通センサスの調査結果は道路の整備計画、維持管理等に活用されている。

円滑な交通を実現する	バイパス、環状道路の整備。道路ネットワークの整備。
地域の活力を高める	都市間道路の整備。
増えるゆとり時間に対応する	休日交通に対応した道路整備。
ゆとりの空間を実現する	歩道、道路緑化等の整備、管理。

## 1. 交通量の状況

一般都道府県道以上の自動車走行台キロについて、平成9年度から平成11年度の年平均伸率は1.4%で、平成6年度から平成9年度の伸び(2.8%)に比べると伸びが鈍化している。(表1)

- 1) 自動車走行台キロを車種別に見ると、平成9年度から平成11年度の年平均伸率は、乗用車が4.8%と前回の4.6%から増加、一方、貨物車は-3.6%と前回の0.6%から伸びがマイナスに転じた。(図1、表1)
- 2) 免許保有者数の年平均伸び率は1.8%で、自動車走行台キロの伸びに比べると高い。自動車保有台数の年平均伸び率は1.2%で自動車走行台キロより低い。(図2、表1)
- 3) 平均交通量についてみても、貨物車の割合は減少しており、平成9年度の41.7%から、平成11年度には37.7%に低下した。(図4)

(注) 走行台キロ：自動車の走行距離の総和。(調査単位区間延長にその調査単位区間の交通量を乗じて加算したもの。)  
 乗用車：乗用車、バス  
 貨物車：小型貨物車、普通貨物車  
 平均交通量：総走行台キロを総延長で除したもの。(各調査単位区間ごとの交通量を加重平均したもの。)

表1 伸率の推移

	H6	H9	H11	H6→H9 年平均伸び率	H9→H11 年平均伸び率
自動車走行台キロ(千台キロ)	1,351,361	1,469,892	1,511,810	2.8%	1.4%
乗用車類(千台キロ)	749,650	857,307	942,060	4.6%	4.8%
貨物車類(千台キロ)	601,711	612,585	569,750	0.6%	-3.6%
自動車保有台数(台)	64,992,419	69,719,192	71,458,445	2.4%	1.2%
免許保有者数(人)	67,205,667	71,271,222	73,792,756	2.0%	1.8%

- (注) 1. 走行台キロは、道路交通センサスによる24時間走行台キロ。  
 2. 運転免許保有者数は、警察庁調べによる平成11年末値。  
 3. 自動車保有台数は、運輸省「自動車保有車両数」による平成11年度末値。

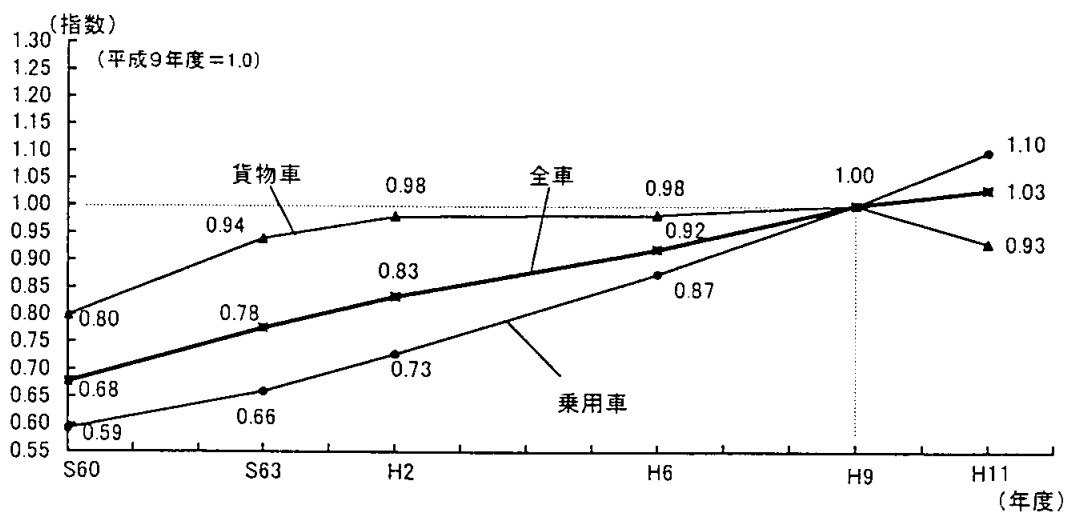


図1 車種別自動車走行台キロの推移



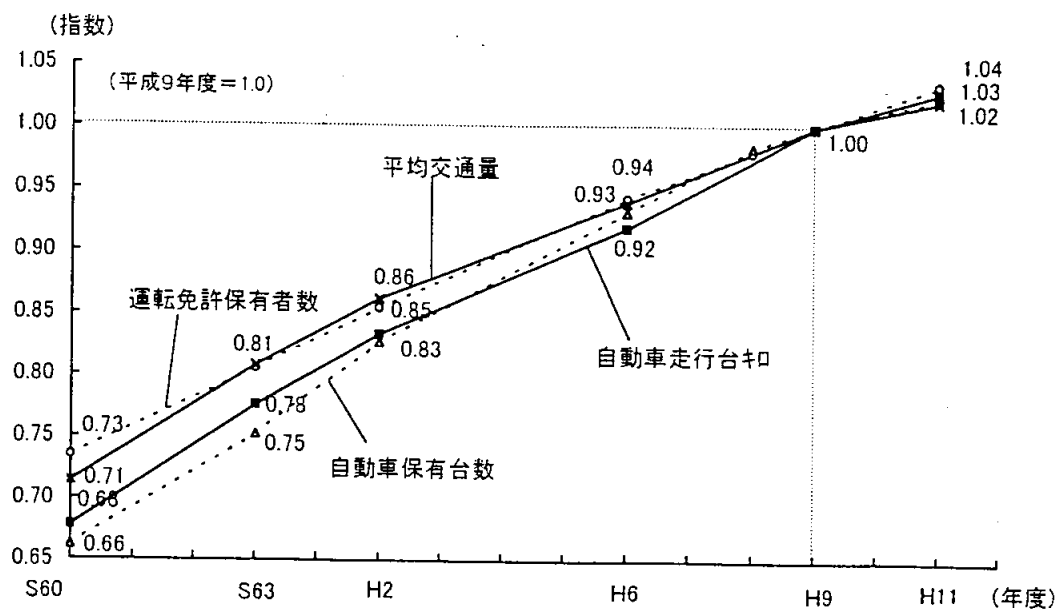


図2 自動車走行台キロ、平均交通量と社会指標の推移

- 注) 1. 走行台キロは、道路交通センサスによる24時間走行台キロ。  
 2. 運転免許保有者数は、警察庁調べによる平成11年末値。  
 3. 自動車保有台数は、運輸省「自動車保有車両数」による平成11年度末値。  
 4. 平均交通量は平日24時間値。

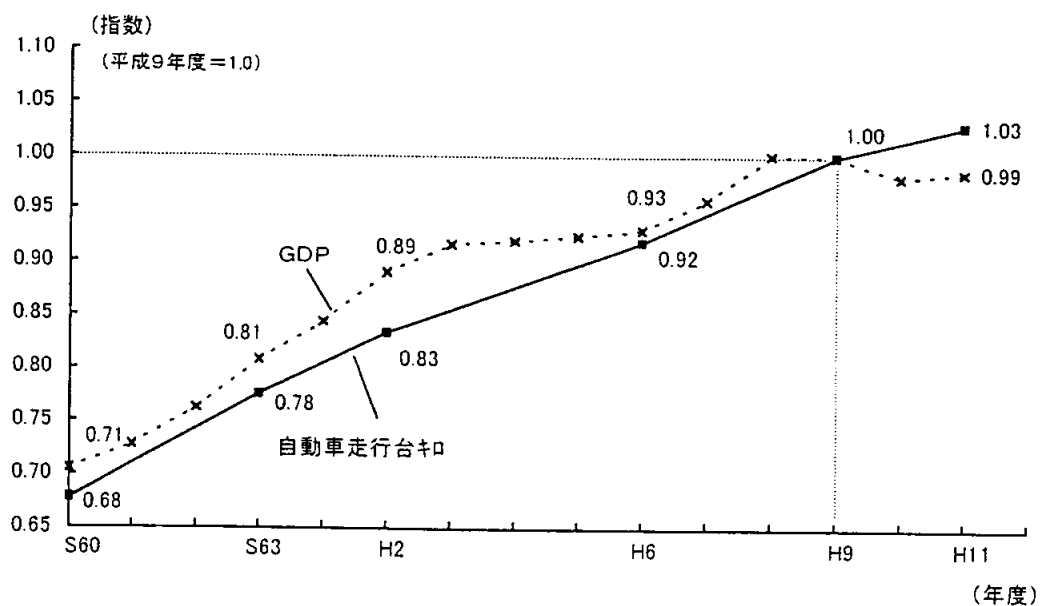


図3 自動車走行台キロと経済指標の推移

- 注) 1. 走行台キロは、道路交通センサスによる24時間走行台キロ。  
 2. GDPは経済企画庁「国民経済計算年報」による実質(H2年暦年基準価格)。  
 3. GDPのH11年値は速報値。

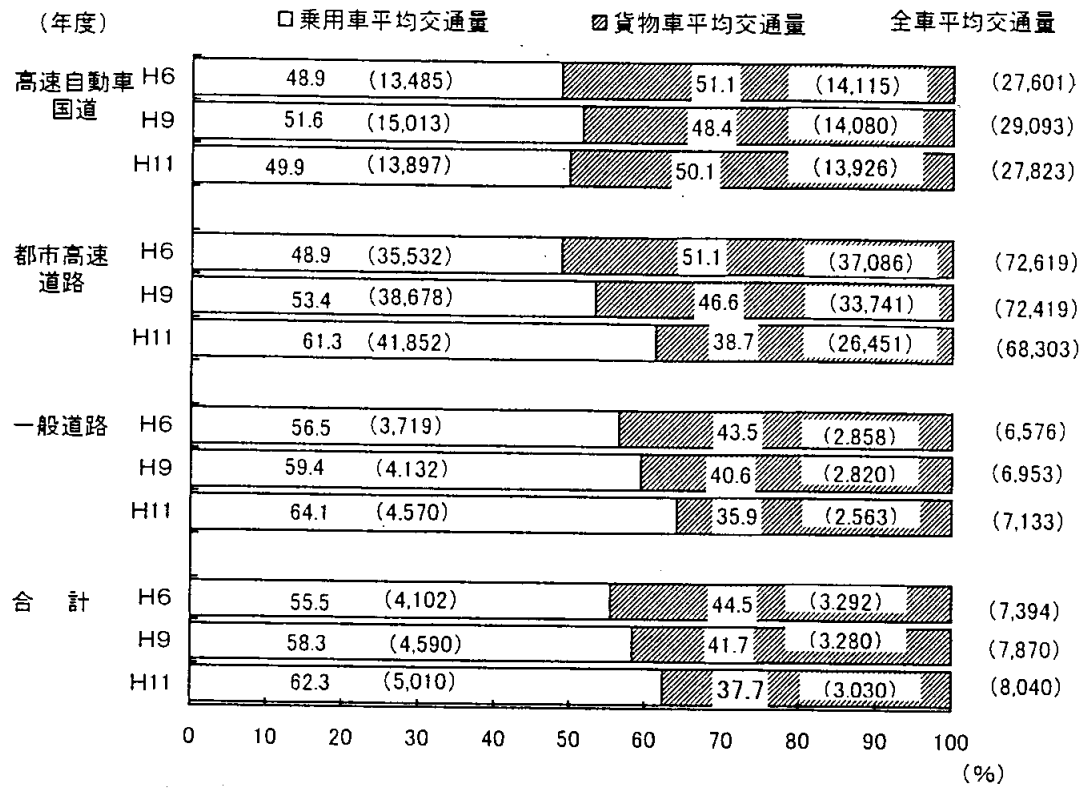


図4 平均交通量の車種別構成比の推移

注) ( )内は平均交通量で台/24h。

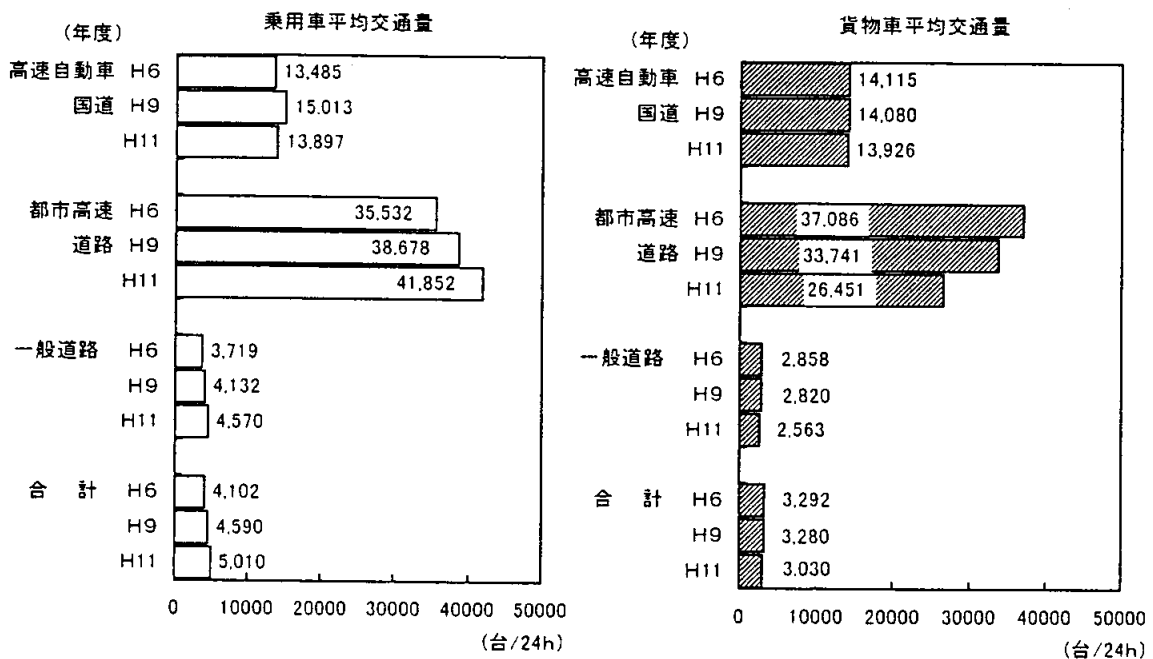


図5 車種別平均交通量の推移

## 2. 自動車交通量の地域特性

三大都市圏と地方圏の走行台キロを比較すると、平成6年度から平成9年度では地方圏の伸びが高く、平成9年度から平成11年度でも同じ傾向にある。

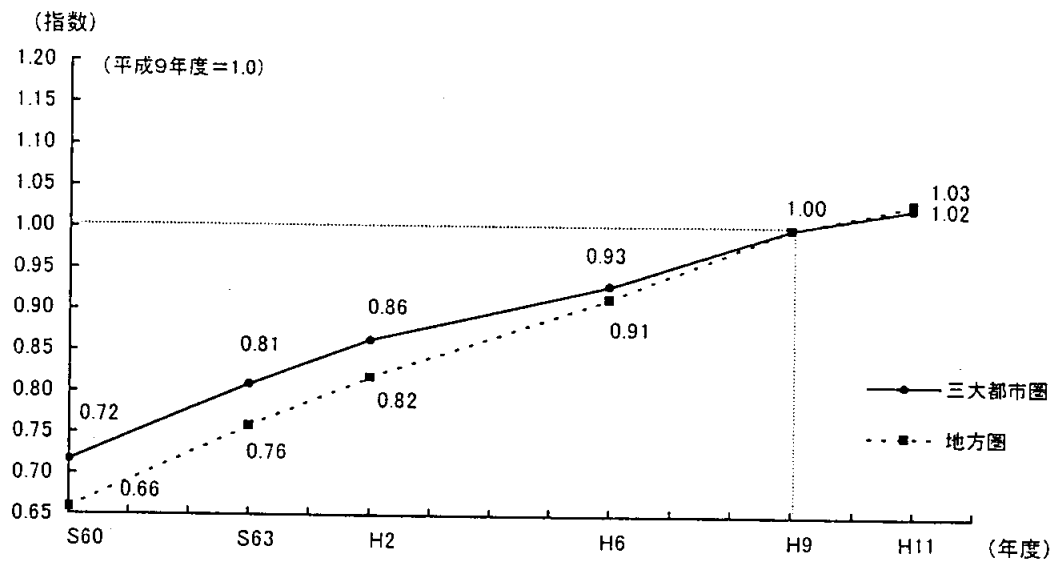


図6 地域別自動車走行台キロの推移

注) 三大都市圏とは埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、三重、京都、大阪、兵庫の9都府県である。  
地方圏とは、三大都市圏以外の道県である。

### 3. 利用道路種別別自動車交通の分担

高速自動車国道及び都市高速道路、一般国道(直轄)の延長の割合は、それぞれ0.6%、1.8%(合計2.4%)に対し、10.8%、19.1%(合計29.9%)の自動車の交通量を分担している。特に貨物自動車は15.0%、22.1%(合計37.1%)の交通量を分担している。

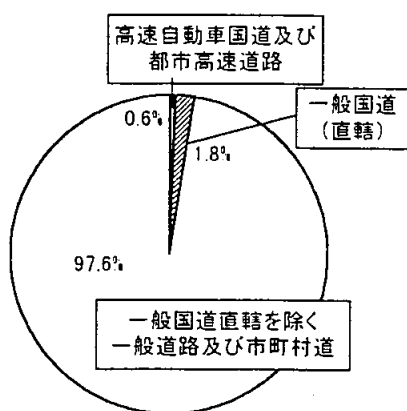


図7 道路延長の割合

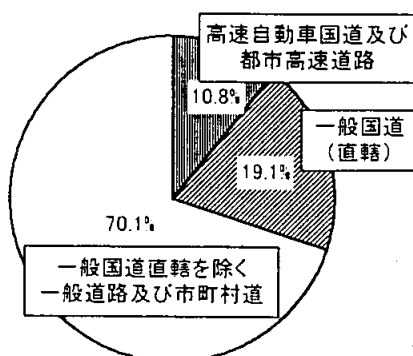


図8 自動車走行台キロの割合

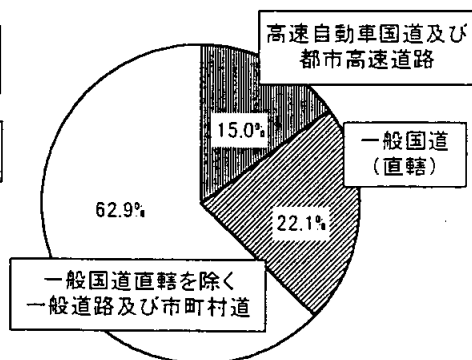


図9 貨物自動車走行台キロの割合

表2 道路種別別延長、自動車走行台キロの推移

道路種別	延 長 (km)				全車走行台キロ (千台キロ/24h)				貨物車走行台キロ (千台キロ/24h)			
	平成9年度		平成11年度		平成9年度		平成11年度		平成9年度		平成11年度	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
計	6663.6	0.6	7061.1	0.6	217637	10.8	220917	10.8	104611	14.3	105902	15.0
高速自動車国道	6114.9	0.5	6457.0	0.6	177900	8.8	179655	8.8	86098	11.8	89923	12.8
都市高速道路	548.7	0.0	604.1	0.1	39736	2.0	41262	2.0	18514	2.5	15979	2.3
計	180114.4	15.7	180972.1	15.6	1252256	62.0	1290893	63.2	507973	69.5	463848	65.9
一般国道計	53281.3	4.6	53668.9	4.6	637492	31.5	655949	32.1	265187	36.3	251468	35.7
一般国道(直轄)	20654.4	1.8	20843.7	1.8	379213	18.8	389786	19.1	159960	21.9	155583	22.1
一般国道(その他)	32626.9	2.8	32825.2	2.8	258279	12.8	266163	13.0	105227	14.4	95885	13.6
都道府県道	126833.1	11.0	127303.2	11.0	614763	30.4	634944	31.1	242786	33.2	212380	30.2
都道府県道以上計	186778.0	16.3	188033.2	16.2	1469892	72.7	1511810	74.0	612585	83.8	569750	80.9
市町村道	965073.5	83.7	973860.6	83.8	569504	27.3	532174	26.0	105606	16.2	134314	19.1
合 計	1151851.5	100.0	1161893.8	100.0	2039396	100.0	2043984	100.0	718191	100.0	704064	100.0

- 注) 1. 都道府県道とは主要地方道と一般都道府県道の合計である。  
 2. 都道府県道以上の延長と走行台キロはセンサス結果による。  
 3. 市町村道の延長は道路統計年報による実延長で、平成11年4月1日現在。  
 4. 走行台キロの合計は運輸省「陸運統計要覧」から換算した平成10年度末値である。  
 5. 交通不能区間を含む。

#### 4. 夜間交通量の状況

夜間交通量の日交通量に対する比率は、高速自動車国道、都市高速道路、一般国道ともに昭和55年度から平成2年度にかけて一貫して上昇していたが、平成6年度で減少した。

その後は、都市高速道路は減少し、高速自動車国道は横ばいだが、一般国道は上昇傾向にあり、平成11年度では平成2年度と同程度まで上昇している。

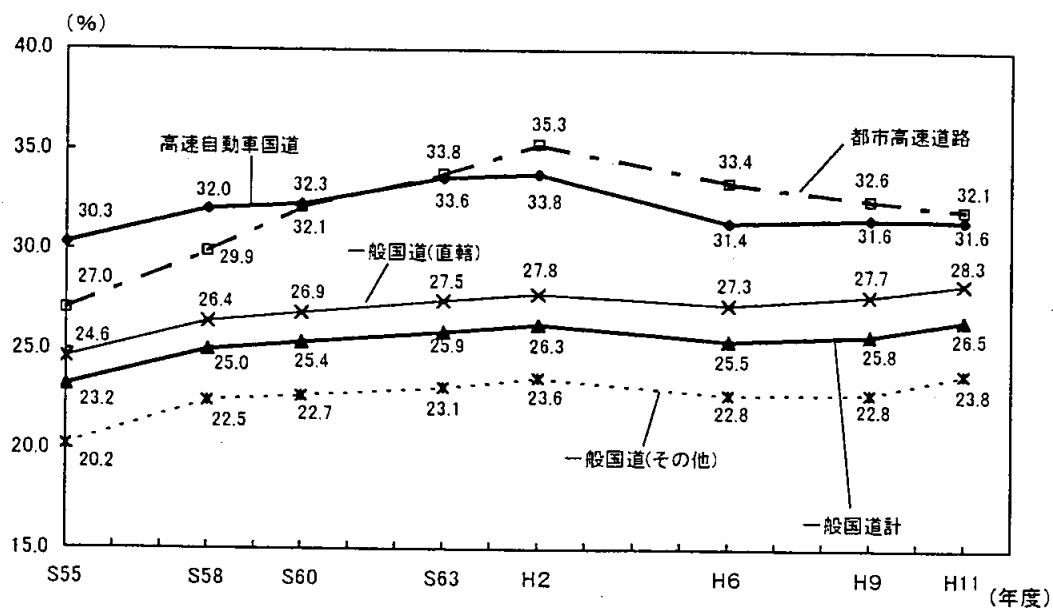


図10 道路種別別夜間交通量比の推移

注) グラフ内の数値は夜間交通量の日交通量に対する比率である。

## 5. 休日交通量と平日交通量の比較

一般都道府県道以上の休日の交通量は平成 11 年度で減少し、休日平日交通量比が 1.0 以上の道路の延長割合は、平成6年度に 35.7%であったが、平成 9 年度では 31.7%、平成 11 年度には 26.8%と減少している。

(注) 休日平日交通量比: 休日交通量を平日交通量で除したもの。

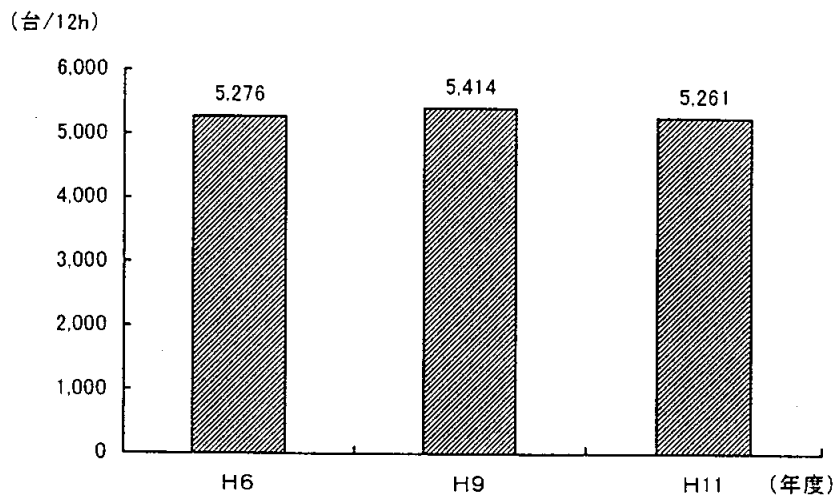


図11 休日平均交通量の推移

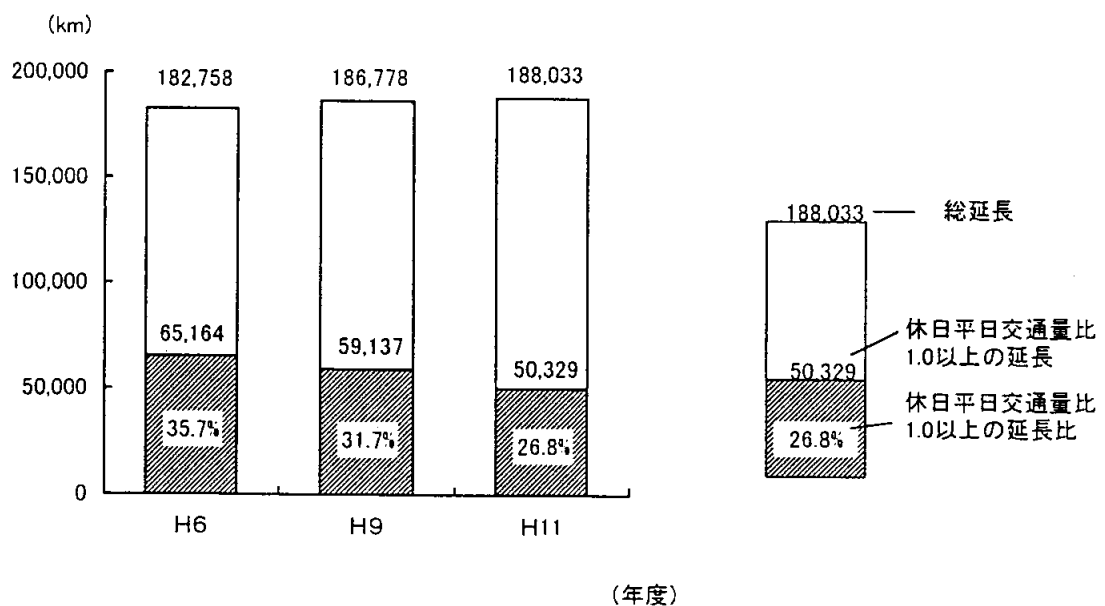


図12 休日平日交通量比1.0以上の延長割合の推移

## 6. 混雑時旅行速度

### (1) 道路種別別混雑時旅行速度の推移

平日の混雑時旅行速度は、35.0km/h(道路種別合計)と、平成6年度からは上昇傾向にあるが、平成9年度からはほぼ同程度であった。

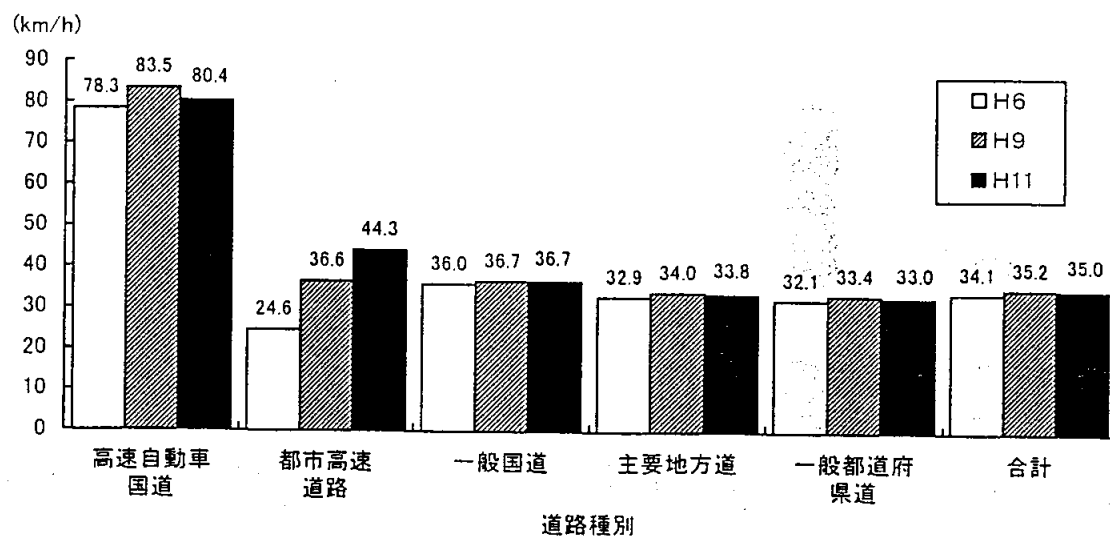


図13 道路種別別混雑時旅行速度の推移(平日)

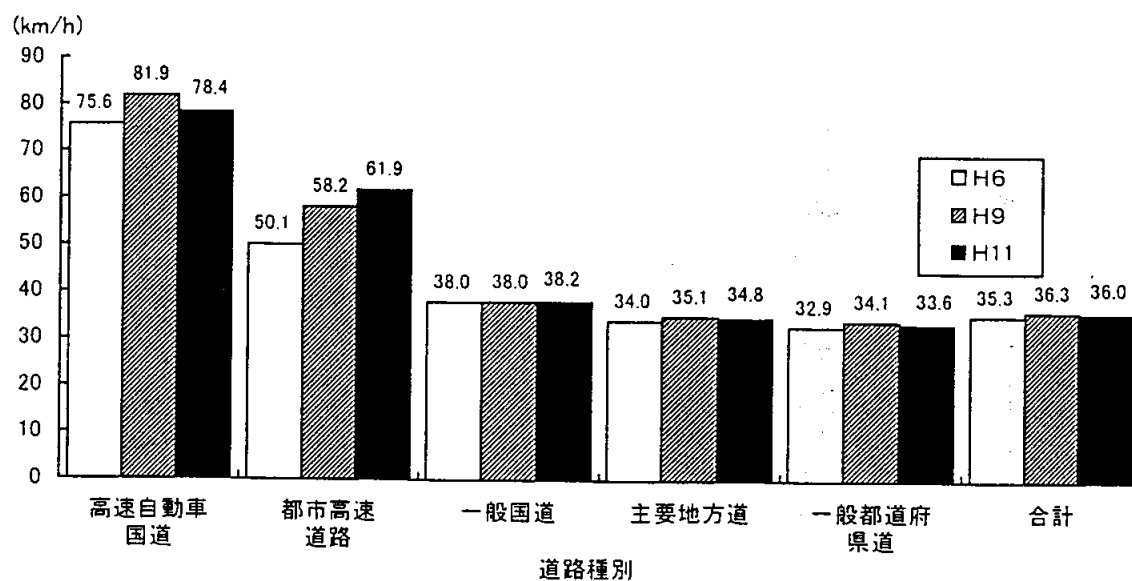


図14 道路種別別混雑時旅行速度の推移(休日)

## (2)道路種別別混雑時旅行速度の推移(DID)

平日の混雑時旅行速度は、20.6km/h(道路種別合計)と、平成6年度からは上昇傾向にあるが、平成9年度からはほぼ同程度であった。

注) DID:人口集中地区。市町村の境界内で人口密度の高い基本単位区(約4,000人/km<sup>2</sup>以上)が隣接して、それらの人口が5,000人以上となる地域。

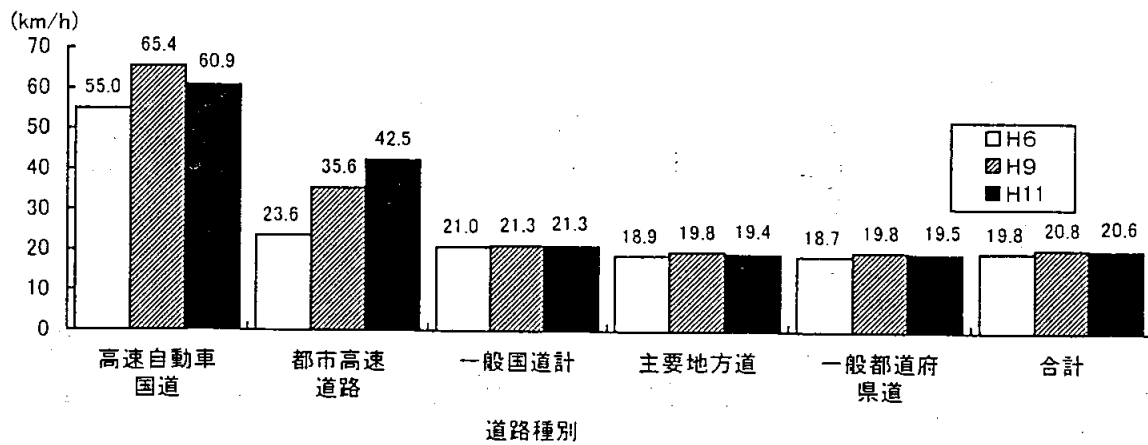


図15 道路種別別混雑時旅行速度の推移(平日・DID)

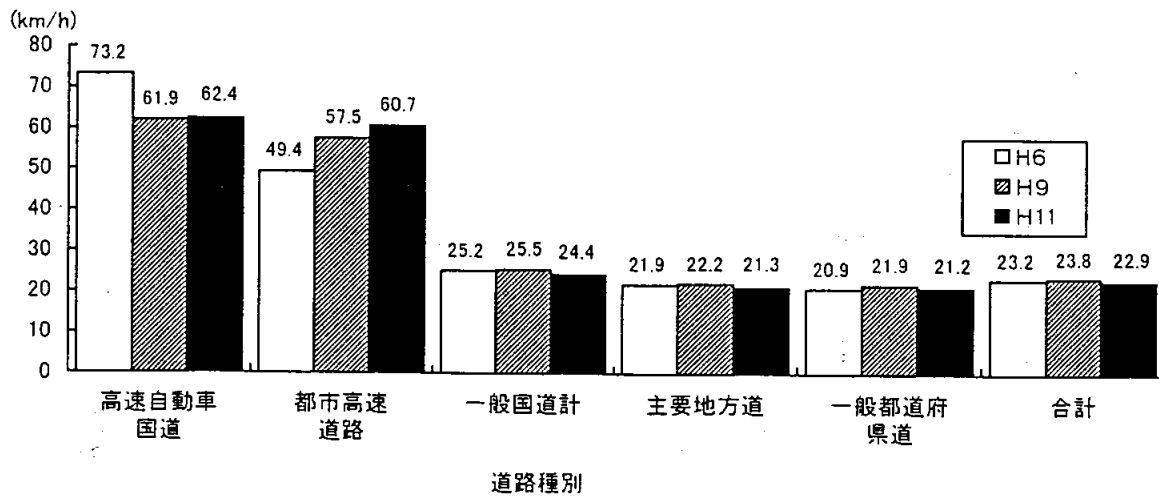


図16 道路種別別混雑時旅行速度の推移(休日・DID)



## 7. 路上駐車車両数(DID)

一般道路の平均路上駐車車両数は平日が 3.99 台/km、休日が 4.62 台/km で休日の方が平均路上駐車車両数は多い。(新規調査)

路上駐車調査は今回新規に行なわれた調査の1つで、代表沿道状況が人口集中地区(DID)である区間内で、(旅行速度調査と同時に)平日は朝又は夕方の方のいずれかのラッシュ時間帯に、休日はピーク時間帯に大型車小型車別に上り下り両方向の路上駐車車両数を調査した。

表3 道路種別別平均路上駐車車両数

道路種別	旅行速度 調査延長 (km)	平均路上駐車車両数 (台/km)	
		平日	休日
一般国道(直轄)	3,420.7	3.15	3.29
一般国道(その他)	2,000.6	3.06	3.60
主要地方道	4,324.9	4.97	5.82
一般都道府県道	3,244.2	4.14	5.04
一般道路計	12,990.4	3.99	4.62

注) 1. 一般国道(その他)には、一般有料道路を含まない。

2. 平日の値は、休日調査実施区間と同じ区間を対象に集計した。

## 8. 自転車通行可能延長等

歩道等設置延長に対する自転車通行可能延長の比率は一般道路計で 62.7%(44,710.3km)であるが、自転車道等設置延長の比率は 1.5%(1,034.4km)である。(新規調査)

表4 道路種別別歩道等設置延長

	歩道等設置延長(km)					
	延長	うち自転車 通行可能延長		うち自転車道等 設置延長		代表幅員 (m)
			(%)		(%)	
一般国道(直轄)	15049.6	9808.2	65.2	365.8	2.4	2.65
一般国道(その他)	15143.1	9399.0	62.1	217.7	1.4	2.47
主要地方道	22333.7	13966.3	62.5	288.0	1.3	2.56
一般都道府県道	18773.1	11536.8	61.5	162.9	0.9	2.48
一般道路計	71299.5	44710.3	62.7	1034.4	1.5	2.54

注) 交通不能区間を除く延長

- ① 自転車通行可能延長: 歩道設置区間延長のうち、自転車道が併設された区間および交通規則により自転車通行可能となっている区間の延長
- ② 自転車道等設置延長: 自転車通行可能な歩道設置区間延長のうち自転車道が併設された区間および区画線等で自転車が通行する部分が指定された区間の延長

## 9. その他の道路整備水準

一般道路について、歩道設置率、幅の広い歩道設置率、四車線化率、道路緑化率は過去から一貫して増加している。また道路と鉄道との平面交差の密度は低くなっているものの、平成11年度では依然 21.4 箇所／千 km であった。

表5 一般道路の整備水準の推移

年度	歩道				四車線化		道路緑化		鉄道平面交差		調査延長 km
	設置延長 km	設置率 %	うち幅広 歩道	率 %	延長 km	率 %	延長 km	率 %	箇所数	密度 箇所/千km	
S55	34,363.5	20.2	5,780.6	3.4	5,982.1	3.5	—	—	4,630	27.2	170,111.8
S58	40,922.5	23.7	7,288.8	4.2	6,357.5	3.7	—	—	4,652	26.9	172,742.3
S60	45,421.9	26.2	8,600.9	5.0	6,857.7	4.0	8,437.5	4.9	4,401	25.4	173,487.1
S63	51,764.7	29.7	10,532.7	6.0	7,833.7	4.5	10,304.8	5.9	4,128	23.6	174,567.9
H2	55,502.7	31.6	11,601.5	6.6	8,460.6	4.8	11,015.4	6.3	4,122	23.5	175,394.1
H6	62,554.5	35.4	14,254.8	8.1	9,738.7	5.5	12,746.2	7.2	4,009	22.7	176,699.9
H9	67,846.2	37.7	16,770.7	9.3	10,807.8	6.0	14,159.9	7.9	3,972	22.1	180,114.4
H11	71,349.3	39.4	18,558.0	10.3	11,238.9	6.2	15,504.4	8.6	3,881	21.4	180,972.1

注) 1. 幅広歩道とは歩道幅員が3m以上の歩道である。

2. 道路緑化とは道路内に植樹帯、路傍植栽、街路樹、中央分離帯・交通島の植栽が形成されている部分。

3. 交通不能区間を除く。ただし歩道延長と調査延長は交通不能区間を含む。

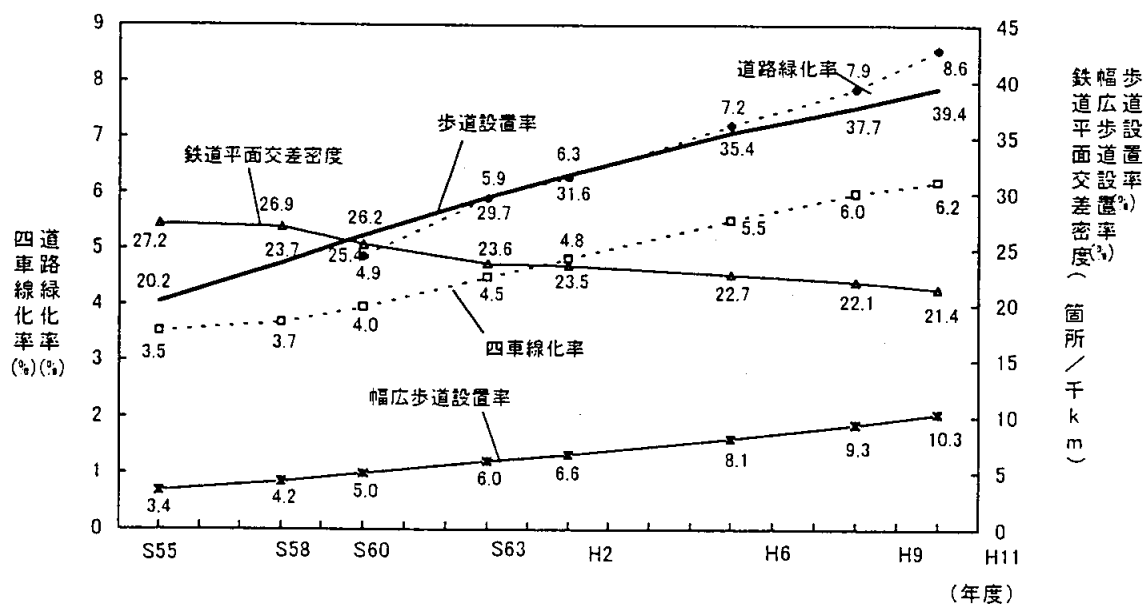


図17 一般道路の整備水準の推移

## 10. バス交通の支援方策に関する調査

平日1日の平均バス便数は33台/日で、1日100便以上のバス停は、全バス停の約7.7%である。(新規調査)

バス交通の支援方策に関する調査は今回新規の調査の一つで、一般交通量調査の対象路線となる一般国道、主要地方道、一般都道府県道及び一部の指定市の市道に存するバス停について、平日1日のバスの運行便数、バス停の整備状況、バス停直面の道路状況及び交通結節状況を調査した。

表6 道路種別別バス停数及び平日平均バス便数

道路種別	バス停数		平均 便数
		うち100便以上 (%)	
一般国道	90,325	6,441 (7.1)	33
主要地方道	86,968	7,583 (8.7)	36
一般都道府県道	68,734	4,875 (7.1)	30
一般道路計	246,027	18,899 (7.7)	33
指定市の一般市道	2,349	1,091 (46.4)	140

注) 指定市の一般市道は4車線以上の路線にあるバス停が対象。

表-1 平日昼間12時間交通量の上位10地点(高速自動車国道)

順位	交通量 (台/12h)	観測地点名	路線名
1	82,491	茨木IC～吹田JCT間	名神高速道路
2	79,825	横浜町田IC～厚木IC間	東名高速道路
3	78,846	摂津南IC～摂津北IC間	近畿自動車道
4	78,233	湾岸市川IC～湾岸習志野IC間	東関東自動車道
5	76,264	外環浦和IC～川口西IC間	東京外環自動車道
6	75,239	東大阪北IC～大東鶴見IC間	近畿自動車道
7	74,658	松原JCT～松原IC間	阪和自動車道
8	73,876	松原JCT～長原IC間	近畿自動車道
9	73,129	宮野木JCT～千葉北IC間	東関東自動車道
10	71,709	宝塚IC～西宮北IC間	中国自動車道

表-2 平日昼間12時間交通量の上位10地点(都市高速道路)

順位	交通量 (台/12h)	観測地点名	路線名
1	100,261	大阪府中央区船場中央2丁目	阪神高速道路 高速大阪東大阪線
2	85,317	東京都品川区八潮3丁目2	首都高速道路 高速湾岸線
3	83,162	浦安市弁天1丁目	首都高速道路 高速湾岸線
4	82,948	大阪府西区新町1丁目	阪神高速道路 高速大阪池田線
5	82,662	大阪府中央区島之内1丁目	阪神高速道路 高速大阪池田線
6	81,025	東京都港区芝3丁目2	首都高速道路 高速都心環状線
7	79,930	大阪府東成区東今里1丁目	阪神高速道路 高速大阪東大阪線
8	74,300	東京都港区六本木5丁目18	首都高速道路 高速都心環状線
9	71,755	東京都千代田区北の丸公園1	首都高速道路 高速都心環状線
10	71,538	大阪府西淀川区歌島4丁目	阪神高速道路 高速大阪池田線

表-3 平日昼間12時間交通量の上位10地点(一般道路)

順位	交通量 (台/12h)	観測地点名	路線名
1	107,500	新潟市神道寺	一般国道8号
2	104,590	横浜市旭区桐ヶ作1492	一般国道16号
3	98,588	新潟市女池	一般国道8号
4	96,599	横浜市旭区今川町	一般国道16号
5	92,646	新潟市竹尾	一般国道7号
6	90,883	新潟市鳥屋野	一般国道8号
7	89,185	吹田市広芝町	一般国道423号
8	88,952	大阪府北区豊崎6丁目	一般国道423号
9	88,727	大阪府淀川区十八条1丁目	一般国道423号
10	87,219	東京都千代田区霞が関1-1	一般国道1号

注) 1. 一般国道の一般有料道路を除く。  
2. 車線数が4以上の区間を対象とした。

表-4 休日昼間12時間交通量の上位10地点(高速自動車国道)

順位	交通量 (台/12h)	観測地点名	路線名
1	72,539	横浜町田IC～厚木IC間	東名高速道路
2	66,021	横浜青葉IC～横浜町田IC間	東名高速道路
3	65,988	東名川崎IC～横浜青葉IC	東名高速道路
4	65,791	湾岸市川IC～湾岸習志野IC間	東関東自動車道
5	65,408	東京IC～東名川崎IC間	東名高速道路
6	64,712	鶴ヶ島JCT～鶴ヶ島IC間	関越自動車道
7	63,876	三郷IC～流山IC間	常磐自動車道
8	63,269	茨木IC～吹田JCT間	名神高速道路
9	62,439	宝塚IC～西宮北IC間	中国自動車道
10	61,494	所沢IC～川越IC間	関越自動車道

表-5 休日昼間12時間交通量の上位10地点(都市高速道路)

順位	交通量 (台/12h)	観測地点名	路線名
1	79,275	大阪市中央区船場中央2丁目	阪神高速道路 高速大阪東大阪線
2	69,401	東京都千代田区北の丸公園1	首都高速道路 高速都心環状線
3	68,957	東京都港区芝3丁目2	首都高速道路 高速都心環状線
4	68,048	浦安市弁天1丁目	首都高速道路 高速湾岸線
5	66,415	大阪市西区新町1丁目	阪神高速道路 高速大阪池田線
6	64,830	東京都品川区八潮3丁目2	首都高速道路 高速湾岸線
7	61,696	東京都港区六本木5丁目18	首都高速道路 高速都心環状線
8	56,745	東京都文京区目白台3丁目26	首都高速道路 高速5号池袋線
9	55,804	芦屋市精道町	阪神高速道路 高速神戸西宮線
10	54,571	東京都世田谷区用賀4丁目5	首都高速道路 高速3号渋谷線

表-6 休日昼間12時間交通量の上位10地点(一般道路)

順位	交通量 (台/12h)	観測地点名	路線名
1	90,578	横浜市旭区桐ヶ作1492	一般国道16号
2	90,301	横浜市旭区今川町	一般国道16号
3	84,320	新潟市神道寺	一般国道8号
4	79,330	吹田市広芝町	一般国道423号
5	79,211	大阪市淀川区十八条1丁目	一般国道423号
6	77,838	新潟市竹尾	一般国道7号
7	77,444	新潟市女池	一般国道8号
8	74,301	横浜市旭区下川井町	一般国道16号
9	74,270	大阪市北区豊崎6丁目	一般国道423号
10	73,211	豊中市緑丘2丁目	主要地方道大阪中央環状線

注) 1. 一般国道の一般有料道路を除く。

2. 車線数が4以上の区間を対象とした。

表-7 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10地点(高速自動車国道)

順位	交通量(台/12h)		平休比	観測地点名	路線名
	平日	休日			
1	12,743	20,125	1.579	下仁田IC~松井田妙義IC間	上信越自動車道
2	12,883	20,166	1.565	松井田妙義IC~碓氷軽井沢IC間	上信越自動車道
3	9,107	13,744	1.509	都留IC~河口湖IC間	中央自動車道富士吉田線
4	15,001	22,029	1.469	富岡IC~下仁田IC間	上信越自動車道
5	10,047	13,998	1.393	郡山JCT~磐梯熱海IC間	磐越自動車道
6	11,611	16,135	1.390	沼田IC~月夜野IC間	関越自動車道
7	9,965	13,621	1.367	月夜野IC~水上IC間	関越自動車道
8	17,460	23,734	1.359	吉井IC~富岡IC間	上信越自動車道
9	9,962	13,508	1.356	磐梯熱海IC~猪苗代磐梯高原IC間	磐越自動車道
10	18,011	24,231	1.345	藤岡IC~吉井IC間	上信越自動車道

注)休日交通量が10,000台/12h以上を対象とした。

表-8 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10地点(都市高速道路)

順位	交通量(台/12h)		平休比	観測地点名	路線名
	平日	休日			
1	9,507	13,010	1.369	神戸市垂水区名谷町	阪神高速道路 高速湾岸線
2	40,057	42,584	1.063	東京都港区台場2丁目	首都高速道路 高速11号台場線
3	43,318	45,483	1.050	東京都墨田区両国1丁目12	首都高速道路 高速6号向島線
4	32,759	34,360	1.049	東京都墨田区千歳3丁目18	首都高速道路 高速7号小松川線
5	10,482	10,935	1.043	池田市神田	阪神高速道路 高速大阪池田線
6	54,620	54,571	0.999	東京都世田谷区用賀4丁目5	首都高速道路 高速3号渋谷線
7	71,755	69,401	0.967	東京都千代田区北の丸公園1	首都高速道路 高速都心環状線
8	34,346	32,879	0.957	東大阪市中野	阪神高速道路 高速大阪東大阪線
9	35,511	33,934	0.956	泉大津市汐見町	阪神高速道路 高速湾岸線
10	37,231	35,530	0.954	東京都大田区羽田空港3丁目	首都高速道路 高速湾岸線

注)休日交通量が10,000台/12h以上を対象とした。

表-9 昼間12時間交通量休日平日交通量比の上位10地点(一般道路)

順位	交通量(台/12h)		平休比	観測地点名	路線名
	平日	休日			
1	787	5,883	7.475	長野県下高井郡山ノ内町大字平穏字山道南	一般国道292号
2	885	4,668	5.275	石垣市宇摩海	富野大川線
3	2,391	9,968	4.169	千歳市ポロピナイ	一般国道453号
4	2,451	9,150	3.733	熊本県阿蘇郡阿蘇町湯浦	阿蘇公園菊池線
5	3,333	12,100	3.630	石狩市親船町	小樽石狩線
6	1,316	4,425	3.363	山梨県南都留郡道志村月夜野50	一般国道413号
7	938	3,116	3.322	鹿児島県始良郡牧園町高千穂	小林えびの高原牧園線
8	3,333	10,606	3.182	千歳市支笏湖温泉	一般国道453号
9	1,690	5,181	3.066	静岡県榛原郡御前崎町御前崎5921-47	佐倉御前崎港線
10	2,919	8,646	2.962	群馬県碓氷郡松井田町西野牧	松井田軽井沢線

注)1. 一般国道の一般有料道路を除く。

2. 休日交通量が3,000台/12h以上を対象とした。